

みのかも文化の森  
年報

Vol.19  
2018年度

みのかも文化の森 年報

Vol.19

2018 年度

「みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム」は、粋にとらわれない市民文化施設として「自然との共存」「学校教育との連携」「市民のちから」「地域づくり」を理念に掲げ、子どもから大人までの知的好奇心に幅広く応えるため、2000年（平成12）10月1日にオープンしました。

さまざまな地域資源が活かされ、ここで自由で深まりのある文化活動と多様な交流が行われるよう願っています。

次の4つの理念のもと、人々の「くらしの一部」として利用され続けるとともに、まちや社会にとって必要とされる場になることをめざします。

#### ①自然との共存

豊かな里山や森のたたずまいをたっぷり「体感」できる場でありたいと思います。身近な自然や生態系から学ぶことの大切さを知り、くらしの豊かさを考える場とします。

#### ②学校教育との連携

ミュージアムにある様々なモノやコトをいかした、感動と深まりのある学びができる場とします。さらに、子どもが将来にわたって幅広く知的好奇心を持ち続けられるよう支援します。

#### ③市民のちから

市民の自由な発想と自発的な動きはミュージアムの活動をささえます。協働しておこなう新しい取り組みや企画は、新しい力や可能性となって次へつながっていきます。

#### ④地域づくり

「博物館」や「教育・文化」という限られた粋にとらわれることなく、人々のふだんの生活の一部として心地よく利用され、地域にとって必要とされる文化的な交流の拠点となります。

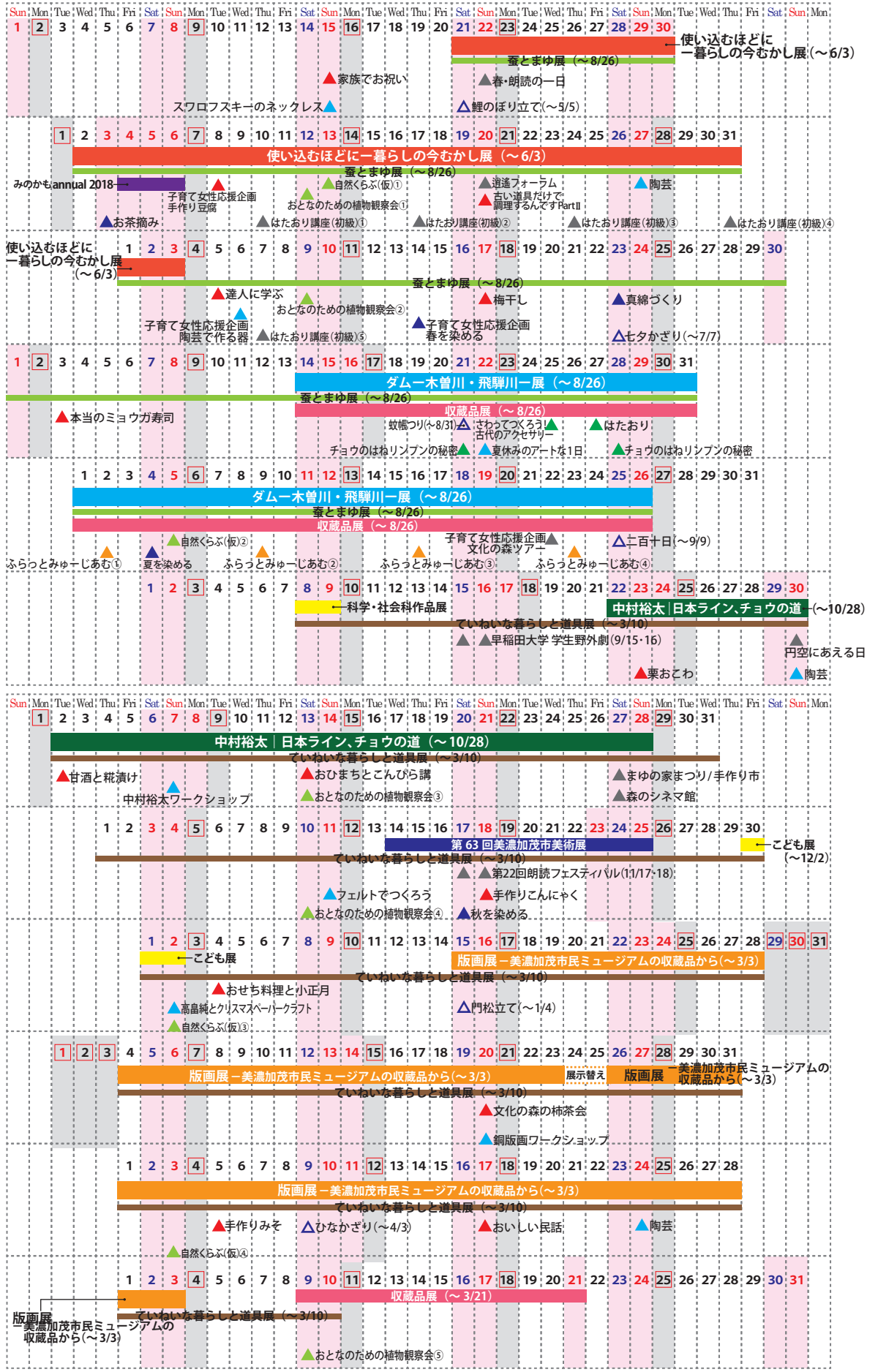
# 目次

ミュージアム カレンダー	3
展覧会事業	
企画展	
使い込むほどに 暮らしの今むかし展	4
ダム - 木曾川・飛騨川 - 展	9
中村裕太   日本ラインの石、岐阜チョウの道	13
版画史と「私」 船坂芳助・堀江良一・安藤真司を中心に	15
収蔵品展	
蚕とまゆ展	21
特集展示 自然について	21
工芸の温度	22
ていねいな暮らしと道具展	22
春の収蔵品展 見つけた風景	23
その他の展示活動	
みのかも annual 2018 焦十一	24
円空にあえる日	24
中山尚子が描くクリスマス	24
第 63 回美濃加茂市美術展	24
各種講座・ミュージアムイベント	
催し物・コンサート等	25
定期講座	26
森の朗読会	28
博学連携フォーラム	28
学校活用	
学校活用状況	29
利用者数等の内訳	29
学年別活動教科数	29
開館以来の利用者数	29
全学習内容	30
収集・保存・整理・調査・その他	
資料収集	34
資料保存	35
博物館実習	35
刊行物等	36
報道関係に掲載・紹介された状況	36
収蔵資料の公開と活用	36
施設の利用状況	37
組織・構成・その他	38
森のアンケート 集計	39
施設概要・利用案内	41
みのかも文化の森の沿革	43

# 2018.4 ▶ 2019.3 CALENDAR

土日祝 
  休館日  
▲ 四季を食べる講座 ▲ アートな1日講座 ▲ ていねいな暮らし講座 ▲ まゆの家年中行事  
▲ 自然観察会 ▲ 夏休み子ども講座 ▲ ふらっとみゅーじあむ ▲ その他

- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 1
- 2
- 3



# 使い込むほどに 暮らしの今むかし 展

会 期：2018年4月21日（土）～6月3日（日）〈38日間〉

会 場：企画展示室

展示点数：174点

観 覧 料：無料

入場者数：3,378人



## 【内容】

ものが大量に生産され消費されるのが現代社会です。しかし少し前までは、身の回りのものの多くはまず手作りされ、既製品であっても痛んだり壊れたりすると、部分的に手直ししたり、修理したりして人々は使い続けました。「使い込んだ」のです。

時間や手間のかかることでしたが、当時の人にとってはごくありふれたことでした。「もったいないから捨てずに使う」ということもあります。そのものをいとおしく思い、使う人の思いがそこに込められていたのです。結果的に、そのように使われたものは何とも言えない味や深みのある顔つきになっていきました。

本展では、これまで生きてきた人々が暮らしの中で、小さなこだわりと大きな愛着をもって使い続けたもの、そして今なお使い続けているものを展示し、むかしも今も変わらぬ、ものに対する人の気持ちや日々の暮らし方を考える機会としました。

## 【関連事業】

### ■ ミュージアムフォーラム「ものと心」

4月29日（日）13:30～15:00 研修室 参加料：無料 参加者：27人

講師 岡本信也氏(野外活動研究会代表)

\*聞き手 齊藤基生氏(名古屋学芸大学教授)



### ■ ミュージアムトーク

4月27日（金）11:00～参加者：3人、 14:00～ 参加者：2人

5月13日（日）11:00～参加者：5人、 14:00～ 参加者：1人

企画展示室 参加料：無料

### ■ 講座「ハギレではたきづくり」

5月26日（土）10:00～12:00 生活体験館 参加料：100円 参加者：4人

### ■ 「絵本のおはなし会」

『ルリユールおじさん』いせひでこ

『おじいさんならできる』フィービ・ギルマン などから

5月27日（日）①11:00～11:30 ②14:00～14:30

企画展示室 参加料：無料 参加者：①15人 ②10人



■ ここまで使ってる鉛筆コンテスト

短くなるまで使い込んでいる鉛筆、さらにそれらをつないだ鉛筆など、「ここまで使ってる」鉛筆を市民のみなさんから募集し、会期中展示を行った。

展示件数：27 件



【展示品リスト】

No.	資料名	時代	所蔵	員数
1	めんば（楕円型）	昭和期	館蔵	1
2	めんば（丸型）	昭和期	館蔵	1
3	弁当箱（花柄）	昭和期	個人蔵、館蔵	2
4	弁当箱	昭和期	個人蔵、館蔵	2
5	茶釜	昭和期	館蔵	2

知的文化の道具

No.	資料名	時代	所蔵	員数
6	文机	昭和期	館蔵	1
7	筆箱、鉛筆、消しゴム	昭和期	館蔵	各 1
8	『廣辭林』	昭和期	個人蔵	1
9	『国語辞典』	昭和期	個人蔵	1
10	本棚	昭和期	館蔵	1
11	児童書『吉田松陰』	昭和期	個人蔵	1
12	児童書『豊臣秀吉』	昭和期	個人蔵	1
13	児童書『浦島太郎』	昭和期	個人蔵	1
14	児童書『子供知識』	昭和期	個人蔵	1
15	児童書『教訓名画集』	昭和期	個人蔵	1
16	ドイツ語の書籍	昭和期	個人蔵	1
17	花札	昭和期	個人蔵	1
18	百人一首	昭和期	個人蔵	1
19	ドミノ	昭和期	個人蔵	1
20	パチンコ台	昭和期	一宮市尾西歴史民俗資料館蔵	1
21	硯	昭和期	個人蔵	1
22	香入	昭和期	個人蔵	1
23	行李	昭和期	個人蔵	1
24	木製の箱	昭和期	個人蔵	1
25	石鹼の缶	昭和期	個人蔵	1

No.	資料名	時代	所蔵	員数
26	『新植物図鑑』	昭和期	個人蔵	1
27	金継のマグカップ	現代	個人蔵	1
28	カメラ	昭和期	個人蔵、館蔵	2
29	ラジオ	昭和期	館蔵	2
30	そろばん	昭和期	個人蔵、館蔵	5

#### 暮らしの道具

No.	資料名	時代	所蔵	員数
31	油単	昭和期	個人蔵	1
32	ワンピース	昭和期	館蔵	2
33	子どもの着物	昭和期	館蔵	1
34	長襦袢	昭和期	館蔵	1
35	着物	昭和期	館蔵	1
36	上着	昭和期	館蔵	1

#### 農業の道具

No.	資料名	時代	所蔵	員数
37	フイゴ	昭和期	館蔵	1
38	目立て台	昭和期	館蔵	1
39	目立てヤスリ	昭和期	館蔵	1
40	鋸	昭和期	個人蔵、館蔵	3
41	鋸ガマ	昭和期	館蔵	1
42	鉋	昭和期	館蔵	4
43	砥石	昭和期	個人蔵	3
44	桶屋の道具	昭和期	館蔵	約20
45	瓦職人の道具	昭和期	館蔵	10
46	屋根葺きの道具	昭和期	館蔵	2
47	槌	昭和期	個人蔵、館蔵	4
48	田の草取り	昭和期	館蔵	2
49	ホクセ	昭和期	個人蔵	1
50	雁爪	昭和期	一宮市尾西歴史民俗資料館蔵	1
51	備中	昭和期	個人蔵	1
52	鍬	昭和期	一宮市尾西歴史民俗資料館蔵	1
53	鋤	昭和期	館蔵	1
54	麦タタキ	昭和期	館蔵	1
55	備中鍬	昭和期	館蔵	1

#### 暮らしの道具

No.	資料名	時代	所蔵	員数
56	検尺器	昭和期	館蔵	1
57	釜のふた	昭和期	館蔵	1

No.	資料名	時代	所蔵	員数
58	ふるい	昭和期	館蔵	1
59	木鉢	昭和期	館蔵	1
60	オヒツ	昭和期	館蔵	1
61	切り板	昭和期	館蔵	1
62	まな板	昭和期	館蔵	1
63	柄杓	昭和期	館蔵	1
64	箱膳	昭和期	一宮市尾西歴史民俗資料館蔵	1
65	箱膳	昭和期	館蔵	1
66	鉄なべ	昭和期	館蔵	1
67	甕	昭和期	館蔵	1
68	飯杓子	昭和期	一宮市尾西歴史民俗資料館蔵	1
69	しゃもじ	昭和期	館蔵	2
70	水筒	昭和期	館蔵	3
71	踏み台	昭和期	個人蔵	1
72	薬研	昭和期	館蔵	1
73	ちりとり	昭和期	館蔵	1
74	ランドセル	昭和期	個人蔵	1
75	ベル	昭和期	館蔵	1
76	ほうき	昭和期	個人蔵	3
77	とおし	昭和期	館蔵	1
78	洗面器	昭和期	館蔵	1
79	糸ワク	昭和期	館蔵	1
80	くけ台	昭和期	館蔵	1
81	ものさし	昭和期	個人蔵	2
82	布袋	昭和期	館蔵	1
83	こて	昭和期	一宮市尾西歴史民俗資料館蔵	1
84	ちゃぶ台	昭和期	館蔵	1
85	櫓炬燵	昭和期	館蔵	1
86	ふみつぎ	昭和期	個人蔵	1
87	涙笹のカゴ	昭和期	館蔵	1
88	タモ	昭和期	館蔵	1
89	タモ (枠のみ)	昭和期	館蔵	2
90	桑摘みカゴ	昭和期	館蔵	1

生業の道具

No.	資料名	時代	所蔵	員数
91	舟の櫂	昭和期	館蔵	1
92	石取りマンガ	昭和期	館蔵	1
93	使い込んだ山茶碗	鎌倉時代	館蔵	2



ここまで使ってる鉛筆コンテスト

No.	資料名	時代	所蔵	員数
94	「ここまで使っている」 えんぴつ	現代	個人蔵	-

佐野一彦撮影「写真」 ※A3に拡大印刷して展示

資料名	時代	員数
「かじや（三）」	昭和41年4月18日撮影	1
「かじや（四）」	昭和41年4月18日撮影	1
「稲刈り（二）」	昭和39年10月25日撮影	1
「葬式 竹筒の花立てを作る（二）」	昭和41年8月3日撮影	1
「桶屋（二）」	昭和38年11月8日撮影	1
「瓦作り」干場の様子	昭和37年10月7日撮影	1
「瓦作り（二）」機械作業の様子	昭和38年2月19日撮影	1
「瓦造り ケンウチ（二）」	昭和37年11月27日撮影	1
「瓦作り五」機械作業（人なし）	昭和38年2月19日撮影	1
「はぎれ売りが来て店を出す」	昭和38年4月22日撮影	1
「ぬいもの」	昭和39年12月20日撮影	1
「ちまき」	昭和40年5月5日撮影	1
「糸車 下町（三）」	昭和39年3月23日撮影	1
「屋根がえ」	昭和40年10月4日撮影	1
「屋根の葺き替え」	昭和39年9月20日撮影	1
「そばを打つ（三）」	昭和39年12月2日撮影	1
「麦打ち一」	昭和39年7月6日撮影	1
「大根サキボシ」	昭和37年12月17日撮影	1
「婚礼」	昭和40年1月5日撮影	1
「苗田のあぜきり」	昭和38年5月10日撮影	1

高橋余一画「生活絵巻」（美濃加茂市指定文化財） ※A3に拡大印刷して展示

資料名	員数
「鋸の目立て」（部分）	1
「桶屋」（部分）	1
「畔塗り」（部分）	1
「麦たたき」（部分）	1
「クド」（部分）	1

「桶屋がやってきた」講座のパネル

資料名	開催年
「桶屋がやってきた」値段表	平成16年（2004）
「桶屋がやってきた」桶屋の道具	平成16年（2004）
「桶屋がやってきた」作業の様子	平成16年（2004）
「桶屋がやってきた」桶やタガ	平成16年（2004）

# ダム－木曾川・飛騨川－ 展

会 期：2018年7月14日（土）～8月26日（日）〈38日間〉

会 場：企画展示室、美術工芸展示室 A

展示点数：253 点

観 覧 料：無料

入場者数：2,398 人



## 【内容】

木曾川・飛騨川のなじみ深い風景の一つとして、ダムがあります。この流域に多くのダムが築かれていくのは、水源が豊富、強固な地盤、谷が迫った急峻な地形などといった地理的要因が挙げられます。しかしながら、特に明治後期から大正、昭和時代を経て現在に至るまで、その土地に暮らす人々による歴史的な視点も見逃すことはできません。

またダムは、その「大きさ」によって、多様で複雑な構造物であるといえます。ダムそのものの規模、建設に至るまでの経緯、ある一つの地域にとっての役割、一つの水系・流域全体に及ぶような広域的な影響は、そこにに関わり合う人や集団間の関係性も並行して生じさせます。

木曾川・飛騨川のほとりに暮らす私たちは、その豊かな水の恩恵をもらいながら、日々を過ごしています。本展では、自然環境、産業、人々の暮らしなどにも大きな影響を与える存在であるダムを地域、人、歴史や文化からみつめることができました。

## 【関連事業】

### ■ ミュージアムトーク ダムを語る

7月18日（水）11:00～12:00 参加者：9人、13:30～14:30 参加者：4人

講師 当館学芸員

8月5日（日）11:00～12:00 参加者：47人、13:30～14:30 参加者：23人

講師 佳 [（一財）日本ダム協会ダムマイスター（03-046）]

8月7日（火）11:00～12:00 参加者：10人、13:30～14:30 参加者：11人

講師 大塚友恵（NPOニワ里ねっと学芸員）

8月19日（日）11:00～12:00 参加者：5人、13:30～14:30 参加者：39人

講師 浅野伸一（電力史研究）、当館学芸員

会場 企画展示室、美術工芸展示室 A 参加料：無料

### ■ ブックトーク ダムをさく（第185回 森の朗読会）

7月21日（土）14:00～15:00 参加者：70人

朗読 みのかも「声のドラマ」の会 会場 緑のホール 参加料：無料

### ■ ツアー ダムをさわる

8月10日（金）12:30～16:00 参加者：13人

会場 丸山ダム 参加料：100 円

■ ツアー 地域の誇り、旧八百津発電所

8月2日（木）10:00～12:00 参加者：10人

会場 丸山ダム 参加料：400円 共催 岐阜県博物館協会中濃ブロック

■ ツアー 知ろうよ！ 今渡ダム

8月8日（水）10:00～12:00 参加者：27人、13:00～15:00 参加者20人

会場 今渡ダム、発電所 参加料：100円 共催 岐阜県博物館協会中濃ブロック

【展示品リスト】

No.	資料名	点数	大きさ (縦×横cm)	作成年月	作成者など	内容等	所蔵者
1	木曾川と大同電力鳥瞰図	1	36×152	-	大同電力／吉田初三郎	額装	関西電力(株)東海支社今渡電力所
2	水彩画 今渡ダム	1	30×21	2018(平成30)年	渡辺崇	水彩	個人蔵
3	水彩画 丸山ダム	1	20×50	2018(平成30)年	渡辺崇	水彩	個人蔵
4	蘭川の発電所建設の出願書	1	28×20	大正6年(1917)3月	名古屋電燈株式会社 から長野県知事		南木曾町教育委員会
5	水利権交渉を島崎広助に委任する文書	1	25×34	大正8年(1919)11月	田立村長代理助役から島崎廣助		南木曾町教育委員会
6	水利権交渉についての田立村と島崎広助との契約書	1	25×17	大正8年(1919)11月	田立村長と島崎廣助		南木曾町教育委員会
7	木曾川と大同電力鳥瞰図	1	26×106	昭和12年(1937)5月	大同電力／吉田初三郎		南木曾町教育委員会
8	木曾川と大同電力鳥瞰図(送電網図)	1	26×32	昭和12年(1937)5月	大同電力		南木曾町教育委員会
9	木曾式伐木運材法	1	39×27	昭和3年(1928)	帝室林野局	図書	館蔵
10	木曾式伐木運材図繪	1	19×27	昭和29年(1954)6月	長野営林局	図書	館蔵
11	岐阜縣大地理	1	23×16	昭和10年(1935)1月	岐阜県教育会	図書	館蔵
12	発電工事を支援するための促進実行委員選任の議案	1	29×40	昭和9年(1934)11月	古井町議会		館蔵
13	発電工事を支援するための陳情書(案)	1	29×20	昭和9年(1934)11月	古井町議会		館蔵
14	愛岐水力発電所建設のための用地(町有地)売却の議案	1	29×20	昭和10年(1935)2月	古井町議会		館蔵
15	用地交渉条件項目	1	28×20	昭和10年(1935)頃	古井町		館蔵
16	今渡発電所建設に対処するための委員会統合を確認する証書	1	27×20	昭和11年(1936)頃	古井町		館蔵
17	発電所工場の事務所を堰堤付近に設置することの証書	1	27×19	昭和11年(1936)7月	愛岐水力株式会社今渡建設所長から古井町長		館蔵
18	発電所工場による渡船場の権利放棄に合意する証書	1	28×20	昭和11年(1936)7月	愛岐水力株式会社今渡建設所長と古井町長		館蔵
19	水神社の移転に関する契約書	1	25×17	昭和11年(1936)7月	愛岐水力株式会社今渡建設所長と古井町長と水神社氏子代表		館蔵
20	児童水泳場のための土地を借りる契約書	1	25×17	昭和13年(1938)7月	古井町長と愛岐水力今渡建設所長		館蔵
21	発電所工場にあたっての要望書(控)	1	28×38	昭和10年(1935)1月	古井町長		館蔵
22	愛岐水力会社から寄付金を受け取るための予算案	1	29×20	昭和12年(1937)3月	古井町議会		館蔵

No.	資料名	点数	大きさ (縦×横cm)	作成年月	作成者など	内容等	所蔵者
23	株式会社間組日本ライン出張所から寄付金を受けるための議案	1	28×20	昭和13年(1938)8月	古井町議会		館蔵
24	『太田町報』第56号 水害見舞の報告	1	24×17	昭和13年(1938)8月	太田町		館蔵
25	発電用木曾川河水使用(今渡発電所)許可申請	1	-	昭和8年(1933)5月	愛岐水力株式会社発起人 総代から岐阜県知事		[複製] 原資料 国立公文書館
26	今渡発電所(逆調整発電所)建設に伴う宮田用水組合としての意見書	1	-	昭和9年(1934)4月	宮田用水普通水利組合から 愛知県土木部長		[複製] 原資料 国立公文書館
27	今渡発電所(逆調整発電所)建設に伴う意見書	1	-	昭和9年(1934)5月	愛知県知事から内務省土木局長		[複製] 原資料 国立公文書館
28	今渡発電所の水利使用認可の起案文書	1	-	昭和9年(1934)9月	内務大臣から岐阜県知事		[複製] 原資料 国立公文書館
29	今渡発電所の水利使用の許可書(控)	1	-	昭和10年(1935)4月	岐阜県知事から愛岐水力株式会社		[複製] 原資料 国立公文書館
30	今渡発電所の水利使用許可の報告	1	-	昭和10年(1935)4月	岐阜県知事から内務大臣		[複製] 原資料 国立公文書館
31	今渡発電所の水利使用許可の報告	1	-	昭和10年(1935)4月	岐阜県知事から愛岐水力株式会社		[複製] 原資料 国立公文書館
32	今渡発電所の土木工事实施の認可申請書	1	-	昭和10年(1935)10月	愛岐水力株式会社 から 岐阜県知事		[複製] 原資料 国立公文書館
33	今渡発電所の工事实施認可の起案文書	1	-	昭和11年(1936)10月	内務大臣から岐阜県知事		[複製] 原資料 国立公文書館
34	今渡発電所の工事实施の認可書	1	-	昭和11年(1936)11月	岐阜県知事 坂千秋から愛岐水力株式会社		[複製] 原資料 国立公文書館
35	今渡発電所の工事实施の認可書に伴う命令書	1	-	昭和11年(1938)11月	岐阜県知事 坂千秋から愛岐水力株式会社		[複製] 原資料 国立公文書館
36	下米田村小山からの陳情書	1	-	昭和11年(1936)1月	岐阜県加茂郡下米田村大字小山 渡辺平三郎他159名から内務大臣		[複製] 原資料 国立公文書館
37	陳情書を受けて対応策を検討する文書	1	-	昭和11年(1936)3月	内務省土木局長から岐阜県知事		[複製] 原資料 国立公文書館
38	八百津町筏乗業者からの嘆願書	1	-	昭和11年(1936)5月	岐阜県加茂郡八百津町筏乗業者一同から内務大臣		[複製] 原資料 国立公文書館
39	嘆願書を受けての回覧文書	1	-	昭和11年(1936)5月	内務省内		[複製] 原資料 国立公文書館
40	古井町と下米田村157名の嘆願書	1	-	昭和11年(1936)9月	古井町96名、下米田村小山61名計157名から内務大臣		[複製] 原資料 国立公文書館
41	嘆願書を受けての回覧文書	1	-	昭和11年(1936)9月	内務省内		[複製] 原資料 国立公文書館
42	今渡第一発電所と関係送電線路の許可申請書の追加申請	1	28×20	昭和10年(1935)5月	大同電力株式会社から通信大臣		岐阜県歴史資料館
43	当初計画の今渡第一発電所と今渡第二発電所(電線路平面図)	1	46×103	大正11年(1922)2月	大同電力株式会社		岐阜県歴史資料館
44	今渡第一発電所工事に關する照会文書	1	-	昭和10年(1935)6月	岐阜県警から御嵩警察署		[複製] 原資料 岐阜県歴史資料館

No.	資料名	点数	大きさ (縦×横cm)	作成年月	作成者など	内容等	所蔵者
45	今渡第一発電所工事に関する回答文書	1	-	昭和10年(1935)7月	御嵩警察署から岐阜県警		[複製] 原資料 岐阜県歴史資料館
46	木曽川水系測水図一覧図 (今渡発電所設計、経済的比較計算書)	1	47×60	昭和11年(1936)8月頃	愛岐水力株式会社電気課		館蔵
47	日立説明書集	1	28×20	昭和11年(1936)	日立製作所		館蔵
48	通信者試験記録	1	22×30	昭和14年(1939)	愛岐水力株式会社今渡発電所		館蔵
49	交流機ステートルコイル組立に関する注意	1	27×19	昭和12年(1937)頃	日立製作所		館蔵
50	今渡発電所 電気関係図面類一式	1	40×30	昭和12年(1937)9月	日立製作所から愛岐水力 kkへ		館蔵
51	今渡発電所工事一覧	1	52×75	昭和12年(1937)頃	愛岐水力株式会社		館蔵
52	リーフレット「愛岐水力株式会社 今渡発電所設備概要」	1	30×21	昭和12年(1937)頃	日立製作所		館蔵
53	封筒「岐阜県可兒郡今渡町今渡 愛岐水力株式会社今渡建設所」	1	33×23	昭和12年(1937)頃	愛岐水力株式会社		館蔵
54	大古井	1	18×10	昭和8年(1933)頃	可兒柁太郎・古井町役場	図書	館蔵
55	愛岐水力間組日本ライン出張所 工事实況絵葉書	8	15×9	昭和12年(1937)頃	愛岐水力間組	絵葉書	館蔵
56	東濃名勝絵ハガキ	5	9×14	昭和14年(1939)頃	坂本写真館	絵葉書	館蔵
57	今渡発電所絵葉書	3	15×20	昭和14年(1939)頃	愛岐水力株式会社	絵葉書	館蔵
58	アヅマ写真館 観光絵葉書	2	9×15	昭和14年(1939)頃	アヅマ写真館	絵葉書	館蔵
59	発電所工事等写真	143	-	-	今渡、大井ほか	写真	関西電力(株)東海支社
60	丸山ダム建設時の映像	2	-	-	-	DVD	関西電力(株)東海支社、丸山ダム管理所
61	下立地区の住民による記録	4	-	不明	-	図書	八百津町教育委員会
62	丸山発電所工事誌	1	26×20	昭和31年(1956)	-	図書	丸山ダム管理所
63	図説 ダム誕生	1	26×28	昭和30年(1955)	-	図書	個人蔵
64	丸山ダム絵葉書	2	14×9	不明	-	絵葉書	館蔵
65	マッチ箱「祝 丸山ダム完成」	1	5×6	不明	-	-	八百津町教育委員会
66	リーフレット「県立公園丸山蘇水湖」	1	18×9	不明	-	-	八百津町教育委員会
67	コア(コンクリート)	1	700×1200×120	不明	-	-	丸山ダム管理所
68	プラムライン	1	300×300×350	不明	-	-	丸山ダム管理所
69	掘削石・転流工「記念石」	2	5×9 5×4	不明	-	-	新丸山ダム工事事務所
70	入鹿池附近の勝地と史跡	1	18×19	1930(昭和5)年	-	図書	ニワ里ねっと
71	慶應戊辰 入鹿池決壊図	1	-	不明	-	パネル	(鶴舞中央図書館)
72	ダムグッズ	20	-	-	-	-	個人蔵

## 中村裕太 | 日本ラインの石、岐阜チョウの道

会 期：2018年9月22日（土）～10月28日（日）〈32日間〉

会 場：企画展示室、美術工芸展示室、自然観察の森

展示点数：インスタレーション4作品

観 覧 料：無料

入場者数：1,066人



### 【内容】

美濃加茂市民ミュージアムでは毎年「芸術と自然」をテーマに、現代美術家によるレジデンスプログラムを開催しています。今年度は京都在住の美術家・中村裕太（1983-）を紹介しました。中村は、日本各地から陶片を拾い集め、その土地の文化や風習を読み解く《日本陶片地図》（2012-）を制作し、「あいちトリエンナーレ 2016」をはじめとする国内外の国際展で作品を発表しています。また、2017年に名古屋市東山植物園で開催された「タイル植物園 | 熱帯植物の観察術」では、本草学をはじめとした日本の博物学の黎明期へとその関心を広げています。

本展では、この土地にまつわる2つのストーリーラインが設定されました。ひとつは、1913年に地理学者の志賀重昂（しがしげたか）（1863-1927）が木曾川に來訪し、「木曾川岸、犬山は全く（ドイツの）ラインの風景そのままなり」と手紙に記したことをきっかけに「日本ライン」と呼称されたこと、もうひとつは1883年に昆虫学者の名和靖（なわやすし）（1857-1926）が下呂市金山町で新種のチョウを発見し、後に「岐阜蝶」と命名されたことです。この2つのエピソードを手がかりに、作家は木曾川流域で「石」と「チョウ」を観察することから制作を始めました。

中村は、自らの手で集めた物品や資料を探究しようとする視点と、石やチョウが見ている世界を想像しようとする視点を持ち合わせています。そうした視点をもとに木曾川の自然や暮らしを所蔵資料とともに再構成しようとする制作方法は、博物館という装置に新たな視座を与える試みでもあります。作家の足跡を辿るように、展示室から森のなかへと道のりが続いていきました。

### 【関連事業】

#### ■ ミュージアムトーク 「チョウのように舞う」

9月23日（日）13:00～16:30 緑のホール、企画展示室・美術工芸展示室、研修室、自然観察の森  
参加料：無料 参加者：17人

#### ■ バスツアー「石のように転がる」

10月13日（土）13:00～16:30 エントランスホール集合、木曾川沿い各所 参加料：無料  
参加者：11人

【展示品リスト】

1 中村裕太《石のように転がる》 インスタレーション 2018年

企画展示室

ギフチョウ	1983～2002年採集	美濃加茂市民ミュージアム蔵
カンアオイ	2000年採集	美濃加茂市民ミュージアム蔵
『昆虫世界』第1号	1897年	岐阜県図書館蔵
木村小舟『昆虫翁・名和靖』	1944年	岐阜県図書館蔵
《小山観音》	1917年	美濃加茂市民ミュージアム蔵
今井秋雄《夕の祈》	昭和初期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
下呂石	1972年発掘	美濃加茂市民ミュージアム蔵
スクレイパー	縄文一弥生時代	美濃加茂市民ミュージアム蔵
切目石錐	縄文時代	美濃加茂市民ミュージアム蔵
ジョレン	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
マンガ	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
丸石問屋の法被	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
《玉石の運搬》	1927年頃	美濃加茂市民ミュージアム蔵
日本ライン看板	1990年代	美濃加茂市民ミュージアム蔵
川石	明治一大正期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
石畳道路資料	2003年調査	美濃加茂市民ミュージアム蔵
ロープ	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
ライン下りは太田から	1937年頃	美濃加茂市民ミュージアム蔵
太田小唄	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
林亮三《太田乗船場》	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
木曾川渡船資料	明治初期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
櫂	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
吉田初三郎《日本ライン探勝交通案内図》	1928年	美濃加茂市民ミュージアム蔵
林亮三《ライン下り坂祝町》	昭和期	美濃加茂市民ミュージアム蔵
志賀重昂書簡	1913年	複製:原資料犬山市教育委員会蔵

2 中村裕太《日本ラインの石》 インスタレーション 2018年

美術工芸展示室

映像、作品（石・紙・麻紐・木）

3 中村裕太《岐阜チョウの道》 インスタレーション 2018年

美術工芸展示室

映像、アゲハチョウの標本、モデルプレート

4 中村裕太《チョウのように舞う》 インスタレーション 2018年

自然観察の森

作品（陶）、チョウの標本、タイル、日本ライン看板、モデルプレート、キャプションプレート

# 版画史と「私」 船坂芳助・堀江良一・安藤真司を中心に

会 期：2018年12月15日（土）～2019年3月3日（日）〈62日間〉

（2019年1月24日・25日は展示替え）

会 場：企画展示室、美術工芸展示室

展示点数：前期：100点 後期：105点

観 覧 料：無料

入場者数：3,122人



## 【内容】

木版とシルクスクリーンの混合技法により現代的な色彩で空間と次元を表現する船坂芳助、宇宙を想起させる荘厳な空間を木版で表し、色鮮やかな油絵具とプレス機で摺る堀江良一、草花や虫など身の回りの生物の生と死を、劇的かつ精緻に描出する銅版画家の安藤真司、この三人は日本の版画界の第一線で活躍してきた美濃加茂市にゆかりの深い版画家です。いずれの作家も技法にこだわりを持ち、一貫したテーマを抱いて真摯に作り続けることで、多彩な展開と膨大な作品群を生み出しました。

当館ではこれら3作家の版画をそれぞれ200点以上収蔵しています。船坂、堀江の作品は本人から、安藤の作品は新潟県在住のある収集家から寄贈されたものです。更に、船坂氏との交流をきっかけに同時代の様々な版画家の作品を収集した市内在住のコレクターからの寄贈品も加わりました。

戦後、版画は日本の美術品を展覧する海外での国際展で高い評価を得、国内で版画ブームが巻き起こります。版画家は独自の技法や表現を模索し、国際展に出品し、ギャラリーでの発表を全国各地で行うようになります。版画の市場は活性化し、自分で収集できる美術品としての位置付けが確立されました。

船坂芳助、堀江良一は、こうした版画の興隆の時代に活動してきました。同じ頃に収集された市内在住のコレクターのコレクションは、版画史についての知識に裏付けられています。一方で、新進の頃から安藤の作品に魅せられて丹念に集め続けられた安藤作品のコレクションは、自分の手で飾り眺める喜びや人間的な温もりをも感じさせるものです。

日夜、自分の版画を作り続ける版画家と、集めた版画を日々の暮らしの中で楽しむ鑑賞家、作り手も見つめる者も「私」のものとして向き合い続けることができる版画を通じてそれぞれの思いに触れ、版画とは何かを見つめ直す機会となることを目指しました。

## 【関連事業】

### ■ ミュージアムフォーラム「私」の版画

12月16日（日）14:00～16:00 緑のホール 参加料：無料 参加者：54人

講師：船坂芳助氏・堀江良一氏・安藤真司氏

### ■ ミュージアム・トーク

① 1月6日（日）14:00～15:00 美術工芸展示室 参加料：無料 参加者：33人

講師：安藤真司氏

② 2月2日（日）14:00～15:00 美術工芸展示室 参加料：無料 参加者：62人

講師：堀江良一氏

③ 2月17日（日）14:00～15:00 美術工芸展示室 参加料：無料 参加者：20人

講師：船坂芳助氏



■ アートな1日講座：銅版画ワークショップ・メゾチント

1月20日(日) 13:00~16:00 工芸室 参加料：1000円 参加者：14人

講師：箱山朋実氏(版画家)

■ ミュージアムフォーラム「モノ」を集めるということ

1月26日(土) 14:00~15:30 研修室 参加料：無料 参加者：25人

講師：糸魚川淳二氏(半原版画館館長)

■ 定期講座(全3回)：木版画のバレン作り

2月16日(土) 13:00~16:00

2月17日(日)・2月24日(日) 10:00~16:00

工芸室 参加料：4000円 参加者：6人 講師：船坂芳助氏

【展示品リスト】

\*会期は前期後期とも展示した作品は「全」、前期のみの場合は「前」、後期のみの場合は「後」と表記した。

No.	作家名	題名	エディション	サイズ (cm)	制作年	技法	所蔵先	会期
1	船坂芳助	不詳	10/2	39.5×52.8	1960年	リノカット	当館蔵(作家より寄贈)	全
2	船坂芳助	海上の幻影	5/9	39.0×32.0	1961年	木版、接着剤による凸版	当館蔵(作家より寄贈)	後
3	船坂芳助	版画集 FUNASAKA YOSHISUKE No.1		24.5×16.0	1961年8月	リノカット	当館蔵(作家より寄贈)	前
4	船坂芳助	「四角カラ」5 DIMENSION OF SPACE	2/20	59.3×44.5	1963年	木版、リノカット	当館蔵(作家より寄贈)	前
5	船坂芳助	版画集 FUNASAKA YOSHISUKE No.19		25.0×18.0	1963年2月	木版、リノカット	当館蔵(作家より寄贈)	前
6	船坂芳助	My Space and My Dimension	52/75	30.2×24.5	1963年	ビニタイル	当館蔵(作家より寄贈)	後
7	船坂芳助	石の花	6/6	45.5×34.8	1964年	木版、接着剤による凸版	当館蔵(作家より寄贈)	前
8	船坂芳助	版画集 FUNASAKA YOSHISUKE No.30		25.0×18.0	1964年1月	リノカット、接着剤による凸版	当館蔵(作家より寄贈)	前
9	船坂芳助	WORK	6/6	45.0×34.5	1965年	木版、接着剤による凸版	当館蔵(作家より寄贈)	後
10	船坂芳助	作品 JY16-1966	3/6	75.5×57.6	1966年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
11	船坂芳助	My Space and My Dimension-3 (WORK-A30)	10/11	75.0×57.5	1968年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
12	船坂芳助	My Space and My Dimension-6 (WORK・At18-1969)	5/10	66.0×49.8	1969年	木版、穴	当館蔵(作家より寄贈)	全
13	船坂芳助	Lemon-339	61/100	49.0×38.4	1973年	シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
14	船坂芳助	Blue and white space	H.C.	27.0×56.7	1973年	木版、シルクスクリーン、穴	当館蔵(作家より寄贈)	後
15	船坂芳助	SKY line NO.361	44/50	54.0×42.0	1974年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
16	船坂芳助	Blue and white space-366	56/100	43.0×43.0	1974年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	全
17	船坂芳助	Lemon No.412 My Space and My Dimension-412	62/100	54.0×42.0	1975年	シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	後
18	船坂芳助	My Space and My Dimension-399	58/65	42.5×41.7	1975年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	全
19	船坂芳助	My Space and My Dimension-520	19/30	59.0×56.0	1978年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	全
20	船坂芳助	My Space and My Dimension-548	5/28	59.0×56.0	1978年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	後

No.	作家名	題名	エディション	サイズ (cm)	制作年	技法	所蔵先	会期
21	船坂芳助	My Space and My Dimension-713	25/32	58.5×55.2	1981年	木版、シルクスクリーン、エンボス	当館蔵(作家より寄贈)	後
22	船坂芳助	My Space and My Dimension-743	18/29	59.0×55.8	1981年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
23	船坂芳助	My Space and My Dimension-771	1/5	79.4×58.0	1982年	木版、シルクスクリーン、コラージュ	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
24	船坂芳助	My Space and My Dimension-806	22/30	59.0×56.0	1983年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	後
25	船坂芳助	My Space and My Dimension-M16	1/20	96.5×64.8	1989年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
26	船坂芳助	My Space and My Dimension-M66	18/30	59.0×56.0	1992年	木版、シルクスクリーン、エンボス	当館蔵(作家より寄贈)	前
27	船坂芳助	My Space and My Dimension-M68	5/30	59.0×56.0	1992年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	後
28	船坂芳助	My Space and My Dimension-M78	71/75	45.0×30.0	1992年	リノカット	当館蔵(作家より寄贈)	後
29	船坂芳助	My Space and My Dimension-M111	16/30	59.0×56.0	1994年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
30	船坂芳助	My Space and My Dimension-M300	6/32	58.7×55.9	1999年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
31	船坂芳助	My Space and My Dimension-M339	18/27	58.7×55.9	2000年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	後
32	船坂芳助	My Space and My Dimension-M402	4/10	45.0×30.0	2002年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
33	船坂芳助	My Space and My Dimension-M411	18/19	45.0×30.0	2002年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
34	船坂芳助	My Space and My Dimension-M434	4/23	45.0×30.0	2002年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
35	船坂芳助	My Space and My Dimension-M482	14/25	45.0×30.0	2003年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
36	船坂芳助	My Space and My Dimension-M540 (Lemon.Black and White-50)	39/40	38.0×38.0	2004年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	全
37	船坂芳助	My Space and My Dimension-M542	21/29	58.9×56.0	2004年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	前
38	船坂芳助	My Space and My Dimension-M665	4/9	65.1×63.0	2006年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	全
39	船坂芳助	My Space and My Dimension-M817	99/100	45.0×30.0	2009年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
40	船坂芳助	My Space and My Dimension-M863	24/25	58.9×56.0	2010年	木版、シルクスクリーン	当館蔵(作家より寄贈)	後
41	船坂芳助	My Space and My Dimension-306 BYAKUROKU	100/100	45.0×30.0	2017年	木版	作家蔵	全
42	船坂芳助	My Space and My Dimension-343 SABIGUNJO	98/100	45.0×30.0	2018年	木版	作家蔵	全
43	船坂芳助	My Space and My Dimension-321 YOKO	99/100	45.0×30.0	2018年	木版	作家蔵	全
44	船坂芳助	My Space and My Dimension-315 KABA	98/100	45.0×30.0	2018年	木版	作家蔵	全
45	駒井哲郎	海底の祭	19/30	23.5×16.5	1951年	メゾチント、ソフトグラウンド・エッチング、ドライポイント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	全
46	畦地梅太郎	山男五		55.5×36.0	1956年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
47	瑛九	顔	2/20	44.0×29.0	1957年	リトグラフ	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	全
48	山口源	思慕	10/50	59.0×43.5	1957年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
49	吉田政次	悲しい記録 No.2	22/50	59.5×42.3	1957年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
50	畦地梅太郎	白い像	A.P.	69.0×45.3	1958年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
51	川西英	船室 B		44.0×59.0	1958年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
52	萩原英雄	石の花・赤	18/30	86.7×58.0	1960年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	全
53	小野忠重	野のほとけ		22.0×27.0	1962年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
54	香月泰男	シベリアシリーズ「雪」	E.P.	33.5×48.5	1969年	リトグラフ	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
55	船坂芳助	White Space (S7-1970)	5/5	88.0×92.0	1970年	木版、穴、レリーフ	高橋栄一氏寄託	全
56	黒崎彰	闇のコンポジション A	17/30	80.0×55.0	1970年	木版	高橋栄一氏寄託	前

No.	作家名	題名	エディション	サイズ(cm)	制作年	技法	所蔵先	会期
57	小野忠重	ライン		21.7×14.2	1972年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
58	浜田知明	いらいら(B)	8/50	35.8×27.5	1975年	カラーエッチング、アクアチント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
59	浜口陽三	アスパラガス	73/75	15.0×15.0	1978年	カラーメゾチント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	全
60	池田満寿夫	SAYOKOの肖像	58/80	36.0×23.5	1978年	ドライポイント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	全
61	難波田龍起	森の少女	E.A.	29.1×17.3	1978年	ドライポイント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
62	清宮質文	山上の湖	E.P.	19.5×26.0	1981年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
63	森岡完介	Message 82-4P	4/20	58.5×76.6	1982年	シルクスクリーン	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
64	浜田知明	見られている	11/50	35.8×27.5	1982年	カラーエッチング、アクアチント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
65	野田哲也	Diary : Feb15th '82 in Iwaki	15/25	44.5×64.0	1982年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
66	斎藤清	会津の冬(51)	108/130	37.6×52.7	1982年	木版	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	後
67	中林忠良	転位 83 地- I		56.0×47.5	1983年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	全
68	加納光於	暁によばれて	14/23	60.0×50.3	1991-92年	カラーインタリオ	当館蔵(大矢正充氏より寄贈)	前
69	堀江良一	人物		90.0×60.0	1965年	木版	作家蔵	全
70	堀江良一	少女		36.5×29.5	1965年	木版	作家蔵	前
71	堀江良一	作品		36.5×29.5	1966年	木版	作家蔵	後
72	堀江良一	歩道		60.0×43.2	1966年	木版	作家蔵	前
73	堀江良一	歩道		43.2×60.0	1966年	木版	作家蔵	後
74	堀江良一	作品	2/5	43.0×58.0	1967年	木版	作家蔵	全
75	堀江良一	作品	1/10	49.4×65.8	1967年	木版	作家蔵	前
76	堀江良一	作品 68-1	1/5	49.4×65.8	1968年	木版	作家蔵	後
77	堀江良一	Work 69-38	4/5	73.8×57.8	1969年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
78	堀江良一	Work 70-14B	3/3	37.3×26.5	1970年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
79	堀江良一	Work 70-35	3/6	73.8×57.8	1970年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
80	堀江良一	Work 71-32	2/10	32.7×22.8	1971年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
81	堀江良一	Work 72-32	2/10	73.8×57.9	1972年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
82	堀江良一	Work 73-12	2/12	74.0×57.8	1973年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
83	堀江良一	Work 73-15	3/15	74.2×57.8	1973年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
84	堀江良一	Work 75-28	7/15	33.4×26.5	1975年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
85	堀江良一	Work 76-16	3/15	53.3×37.8	1976年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
86	堀江良一	Work 76-21	4/14	53.5×37.8	1976年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
87	堀江良一	三つのフォルム	2/15	56.8×73.4	1978年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
88	堀江良一	バランスをとる二つのフォルム	5/15	26.5×33.4	1978年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
89	堀江良一	組まれた弧	2/13	72.9×56.4	1980年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
90	堀江良一	舞う弧と球	7/15	72.4×56.4	1980年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
91	堀江良一	弧の塔	3/15	53.5×38.1	1980年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
92	堀江良一	組み立てられた弧	16/17	53.5×38.0	1980年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
93	堀江良一	組まれた弧	2/13	72.9×56.4	1980年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
94	堀江良一	弧のある風景 81-4	11/17	56.1×73.5	1981年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
95	堀江良一	弧のある風景 81-7	15/20	56.1×73.5	1981年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
96	堀江良一	弧のある風景 83-7	5/20	52.5×39.1	1983年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後

No.	作家名	題名	エディション	サイズ(cm)	制作年	技法	所蔵先	会期
97	堀江良一	弧のある風景 84-5	6/20	52.5×39.1	1984年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
98	堀江良一	弧のある風景 85-11	A.P.	33.8×26.5	1985年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
99	堀江良一	弧のある風景 88-5	2/3	56.2×72.8	1988年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
100	堀江良一	弧のある風景 96-13	8/20	56.1×56.1	1996年	木版、エンボス	当館蔵(作家より寄贈)	後
101	堀江良一	弧のある風景 97-22	7/20	34.1×26.6	1997年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
102	堀江良一	弧のある風景 98-14	3/20	52.5×39.0	1998年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
103	堀江良一	弧のある風景 04-18	9/20	85.1×56.5	2004年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
104	堀江良一	弧のある風景 07-5	4/20	54.0×87.5	2007年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	後
105	堀江良一	弧のある風景 09-15	4/20	26.6×34.1	2009年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
106	堀江良一	弧のある風景 10-5	5/15	54.0×87.5	2010年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	前
107	堀江良一	弧のある風景 11-3	15/15	85.1×56.4	2011年	木版	当館蔵(作家より寄贈)	全
108	堀江良一	弧のある風景 16-2	A.P.	54.0×87.0	2016年	木版	作家蔵	全
109	堀江良一	弧のある風景 18-3	A.P.	84.5×56.5	2018年	木版	作家蔵	全
110	安藤真司	輝ける森	28/30	45.4×59.8	1991年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
111	安藤真司	遊花	5/30	45.5×59.8	1991年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
112	安藤真司	夜光	3/25	59.5×90.0	1995年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(渡邊峰夫氏より寄贈)	全
113	安藤真司	森の花 '96-9	20/50	14.4×14.4	1996年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
114	安藤真司	風色	21/35	59.6×44.5	1996年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
116	安藤真司	瓣 (はなびら)	12/35	60.5×45.5	1998年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
117	安藤真司	夜露	3/35	35.8×52.4	1998年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
118	安藤真司	香気	12/35	44.8×60.0	1999年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
119	安藤真司	甘い気配	8/35	35.2×52.0	1999年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
120	安藤真司	風の幻影	4/35	36.0×53.5	1999年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
121	安藤真司	銅版画集 森の昆虫	13/45	20.2×15.3	2001年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
122	安藤真司	森を色どる	2/25	91.0×60.0	2001年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
123	安藤真司	色づく季節	A.P.	91.0×60.0	2001年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
124	安藤真司	森を想う 2002-1	2/35	41.4×25.8	2002年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
125	安藤真司	水の感触 2002-1	3/35	36.0×52.5	2002年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
126	安藤真司	美佐野 '03-3	2/50	18.0×20.0	2003年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
127	安藤真司	森の夜空に	2/35	25.5×41.5	2003年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
128	安藤真司	森を想う 2003-1	5/35	41.0×25.4	2003年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
129	安藤真司	水に滲んで	5/35	52.7×36.3	2003年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
130	安藤真司	静寂な森の陽差しの中で	11/35	60.4×91.5	2004年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
131	安藤真司	風に舞う	1/35	60.4×91.5	2004年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
132	安藤真司	水の記憶 2004-2	2/35	25.6×41.2	2004年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前

No.	作家名	題名	エディション	サイズ(cm)	制作年	技法	所蔵先	会期
133	安藤真司	風に飛ぶ	5/35	32.6×36.7	2004年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
134	安藤真司	ほのかに漂ってくるのは	1/35	35.6×52.0	2005年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
135	安藤真司	甘い匂いの中で	5/35	56.2×74.8	2006年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
136	安藤真司	花に誘われて 2006-1	6/35	25.9×41.6	2006年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
137	安藤真司	水の幻影 '07-1	A.P.	27.5×65.0	2007年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
138	安藤真司	水の幻影 2008-1	7/35	36.3×52.7	2008年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
139	安藤真司	水の景色 2008-3	1/35	25.2×41.0	2008年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
140	安藤真司	蜜の香り 2009-1	1/35	36.0×52.6	2009年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
141	安藤真司	赤い面影	1/35	36.2×52.4	2009年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
142	安藤真司	Berkeley 2011-2	2/35	34.0×22.5	2011年	エッチング、アクアチント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
143	安藤真司	風を感じて(春)	25/35	60.2×45.7	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵	全
144	安藤真司	風を感じて(夏)	1/35	60.2×45.7	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵	全
145	安藤真司	風を感じて(秋)	14/35	60.2×45.7	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵	全
146	安藤真司	風を感じて(冬)	7/35	60.2×45.7	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵	全
147	安藤真司	微かに甘い匂いが漂ってきた	2/35	36.0×52.4	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
148	安藤真司	一色海岸 '12-1	1/25	12.6×15.3	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
149	安藤真司	一色海岸 '12-2	2/25	18.0×24.0	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
150	安藤真司	森のかたち '12	31/60	15.5×11.5	2012年	エッチング	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
151	安藤真司	水に流れるようにとけて	2/35	36.0×52.3	2012年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
152	安藤真司	さわやかな風に吹かれて	1/35	36.0×52.4	2014年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
153	安藤真司	葉山 2014-1	2/35	34.2×22.6	2014年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	前
154	安藤真司	美佐野 '14-2	6/50	9.5×14.5	2014年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	後
155	安藤真司	白い誘い	1/35	36.0×52.4	2014年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
156	安藤真司	深い森の中で I	2/20	91.0×60.0	2014年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
157	安藤真司	深い森の中で II	1/20	91.0×60.0	2014年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	当館蔵(川本佳子氏より寄贈)	全
158	安藤真司	甘い輝き	11/35	36.5×52.7	2017年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	作家蔵	全
159	安藤真司	ひっそりと森の中で	6/35	36.5×52.7	2018年	エッチング、アクアチント、ドライポイント	作家蔵	全

## 収蔵品展

### □ 蚕とまゆ展

会 期：2018年4月21日（土）～8月26日（日）〈110日間〉

会 場：民具展示館、生活体験館

展示点数：約40点

観 覧 料：無料

### □ 特集展示 自然について

会 期：2018年5月12日（土）～6月3日（日）〈20日間〉

会 場：美術工芸展示室

展示点数：27点

観 覧 料：無料

### 【展示品リスト】

No	作家名	作品名	材質技法	制作年
1	篠原芳子	correspondence no sender's name-01	カラーペンシル、顔料、紙、パネル	2016年
2	大久保英治	天と地の間に一みのかも	ペン、水彩絵具、紙	2000年
3	大久保英治	水と人の記憶#1	流木、石、針金、木箱	2006年
4	川井昭夫	ワークショップ映像 おおぼこの軌跡	DVD	2009年
5	川井昭夫	麻布・square 08-2	アクリル絵具、麻布キャンバス	2008年
6	川井昭夫	Photo-painting 叢 07-1-17	油絵具、FRP パネル	2007年
7	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO アメリカセンダングサ	インク、種子、和紙	2001年
8	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO アメリカヌスビトハギ	インク、種子、和紙	2001年
9	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO イヌビエ	インク、種子、和紙	2001年
10	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO エノコログサ	インク、種子、和紙	2001年
11	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO オオバコ	インク、種子、和紙	2001年
12	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO コセンダングサ	インク、種子、和紙	2001年
13	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO サナエタデ	インク、種子、和紙	2001年
14	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ススキ	インク、種子、和紙	2001年
15	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO チカラシバ	インク、種子、和紙	2001年
16	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ヌカキビ	インク、種子、和紙	2001年
17	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ヒナタイノコズチ	インク、種子、和紙	2001年
18	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ヒヨドリジョウゴ	インク、種子、和紙	2001年
19	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ヒヨドリバナ	インク、種子、和紙	2001年

No	作家名	作品名	材質技法	制作年
20	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ミズヒキ	インク、種子、和紙	2001年
21	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO メリケンカルカヤ	インク、種子、和紙	2001年
22	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ヤマノイモ	インク、種子、和紙	2001年
23	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO セイヨウタンポポ	インク、種子、和紙	2001年
24	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO アカミタンポポ	インク、種子、和紙	2001年
25	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO センダイハギ	インク、種子、和紙	2001年
26	太田三郎	SEED PROJECT from MINOKAMO ヨウシュヤマゴボウ	インク、種子、和紙	2001年
27	押江千衣子	萬葉	オイルパステル、オイル、キャンバス	2012年

□ 工芸の温度

会 期：2018年6月23日（土）～8月26日（日）〈57日間〉

会 場：美術工芸展示室

展示点数：前期：9点、後期：6点

観 覧 料：無料

【展示品リスト】

No.	作家名	作品名	技法・材質	制作年	期間
1	山出勝治	比良暮雪	染織		
2	山内一生	樹炎	和紙		
3	小林文一	赫耀	陶土	1975年	
4	小林文一	蒼陰	陶土	1993年	
5	小林文一	湖水の響	陶土	2003年	前期のみ
6	イサム・ノグチ	あかり 2A	和紙、竹、鉄、電球		
7	イサム・ノグチ	あかり 6A	和紙、竹、鉄、電球		前期のみ
8	イサム・ノグチ	あかり 10A	和紙、竹、鉄、電球		前期のみ
9	イサム・ノグチ	あかり 14A	和紙、竹、鉄、電球		

□ ていねいな暮らしと道具展

会 期：2018年9月8日（土）～2019年3月10日（日）〈154日間〉

会 場：民具展示館

展示資料：約20点

観 覧 料：無料

□ 春の収蔵品展 見つけた風景

会 期：2019年3月9日（土）～4月10日（水）〈28日間〉

会 場：美術工芸展示室

展示点数：16点

観 覧 料：無料

【展示品リスト】

No.	作家名	作品名	技法・材質	制作年
1	座馬井邨	貞心尼の像（自詠）	紙本墨書	2003年
2	座馬井邨	老桜（自詠）	紙本墨書	2003年
3	大矢峻嶺	風景（小下絵）	紙本墨画淡彩	
4	大矢峻嶺	天龍寺ノ朝（小下絵）	紙本墨画、色鉛筆	1930年頃
5	のりづきとしお	鳩吹山遠望	透明水彩、色鉛筆、パネル	2008年
6	坂井範一	風景-1（青い山）	ガッシュ、紙	1973年
7	長谷川美佐男	港の朝	水彩、紙	
8	押江千衣子	シャワー	水彩、紙	2008年
9	長谷川美佐男	早春安曇野	水彩、紙	1989年頃
10	東京漫画会	東海道五十三次漫画絵巻	紙本墨画淡彩	1922年
11	岡本省吾	西湖	銅版、紙	1991年
12	船坂芳助	南足柄峠から、闇の富士	木版、墨、紙	1992年
13	高橋力雄	Mt. Fuji 25時	木版、水干絵具、紙	1991年
14	平塚運一	甲州西湖富士	木版、紙	1992年
15	河内成幸	多摩早春	木版、ガッシュ、紙	1992年
16	栗山 茂	日本平の富士	木版、不透明水彩、紙	1993年



## その他の展示活動

---

### □ みのかも annual 2018 焦十一

会 期：2018年5月4日（金）～5月6日（日）〈3日間〉

会 場：文化の森 敷地内の野外

観 覧 料：無料

「みのかも annual」は美濃加茂市民ミュージアムを取り囲む森を舞台に、作家たちが現地での実験的な制作展示を試みる3日間限りのアートイベントです。毎年、主に東海地方を活動拠点とする数十名のアーティストが集まり、白壁の展示室とは異なる野外空間へのアプローチを試みています。今年も日常の制作と違う視点を持ち、68作家が新しい表現に挑みました。

### □ 円空にあえる日

会 期：2018年9月30日（日） 9:00～17:00

※ 台風のため、10月6日（土）に再度公開した。

会 場：エントランスホール

展示作品：2点（円空作木造薬師三尊像、円空作木造馬頭観音菩薩立像）

観 覧 料：無料

### □ 中山尚子が描くクリスマス

会 期：2018年11月14日（水）～12月24日（月）〈36日間〉

会 場：エントランスホール

展示作品：3点

観 覧 料：無料

岐阜県瑞浪市を拠点に活躍するイラストレーター・中山尚子（1954年～）は、毎年大手菓子メーカーのクリスマス商品のパッケージデザインを描いています。2018年度にリニューアルした商品の原画を展示しました。

### □ 第63回美濃加茂市美術展

会 期：2018年11月14日（水）～11月25日（日）〈11日間〉

会 場：企画展示室、美術工芸展示室、展示ホール、エントランスホール

観 覧 料：無料

美術との身近なふれあいの場として、文化の発展のために市内外から日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門にわたって作品を公募しました。第63回は240点の出品があり、そのうちの入賞入選作品223点を展覧しました。

日本画	洋画	彫刻・彫塑・工芸	書	写真	合計
19点	86点	23点	18点	77点	223点

# 各種講座・ミュージアムイベント

## □ 催し物・コンサート等

No.	名称	開催日	時間	講師・出演者	開場	参加者
1	第18回 春・朗読の一日	4月22日	10:00~17:00	一般市民	緑のホール	213人
2	使い込むほどに暮らしの今むかし展 ミュージアムトーク	4月27日 5月13日	11:00~ 14:00~	学芸員	企画展示室	11人
3	使い込むほどに暮らしの今むかし展 ミュージアムフォーラムものと心	4月29日	13:30~15:00	岡本信也・齊藤基生	研修室	27人
4	みのかも annual 2018 オープニングパーティー	5月4日	13:00~15:00		生活体験館	40人
5	みのかも annual 2018 アートトレッキングツアー	5月6日	14:00~16:00	みのかも annual 参加作家	森の中	45人
6	5/18の国際博物館の日の記念品の配布	5月13日	9:00~	一般市民	総合案内	20人
7	子育て女性応援企画 身体も心もリフレッシュ「ヨガ」	5月13日	10:00~11:00	森川夏衣	生活体験館	6人
8	第19回道遙フォーラム	5月20日	14:00~16:00	劇団シアターウイーク エンド他	緑のホール	50人
9	使い込むほどに暮らしの今むかし展 関連講座「ハギレではたきづくり」	5月26日	10:00~12:00	生活体験ボランティア	生活体験館	4人
10	使い込むほどに暮らしの今むかし展 関連講座 絵本のおはなし会	5月27日	11:00~12:00 10:00~14:30	みのかも「声のドラマ」 の会	企画展示室	25人
11	本能寺の変と明智光秀	6月2日	14:00~15:30	藤田達生	緑のホール	102人
12	ミュージアムトーク ダムを語る	7月18日 8月5、7、19日	11:00~12:00	佳、大塚友恵、浅野伸一、学芸員	企画展示室、美術工芸展示室A	77人
13	ダム-木曾川・飛騨川-展ブックトーク ダムをさく	7月21日	14:00~15:00	みのかも「声のドラマ」 の会	緑のホール	16人
14	ツアー 地域の誇り、旧八百津発電所	8月2日	10:00~12:00		八百津発電所資料館	10人
15	ツアー 知ろうよ！今渡ダム	8月8日	10:00~12:00 13:00~15:00		今渡ダム	47人
16	ツアー ダムをさわる	8月10日	12:30~16:00		丸山ダム	13人
17	子育て女性応援企画 文化の森ツアーとお仕事体験	8月22日	10:00~12:00	学芸員	陶芸室他	1人
18	森の音づくり講座	9月8、9日	10:30~11:30	学習支援ボランティア	エントランスホール	77人
19	早稲田大学学生野外劇 『風と共に去りぬ』	9月15、16日	13:00~14:00 18:00~20:30	早稲田大学 犬大丈夫8	エントランスホール他	217人
20	中村裕太ミュージアムトーク「チョウのように舞う」	9月23日	13:00~16:30	福永信、中村裕太	緑のホール他	17人
21	円空にあえる日	9月30日 (10月6日)	9:00~17:00	—	エントランスホール	—
22	中村裕太バスツアー「石のように転がる」	10月13日	13:00~16:30	中村裕太	市内他	11人
23	木立に響く道遙	10月17日	18:00~19:30	福原徹他	エントランスホール	128人
24	まゆの家まつり/文化の森 手づくり市	10月27日	10:00~15:00	ボランティア他	生活体験館他	350人
25	森のシネマ館「ハルフウェイ」	10月27日	10:30~12:00 13:30~15:00	北乃きい、 岡田将生	緑のホール	110人
26	きれいにしよう！公園の彫刻	10月28日	9:00~11:00		前平公園	中止
27	第22回 朗読フェスティバル	11月17日 11月18日	15:00~18:00 12:30~17:00	みのかも「声のドラマ」 の会他	緑のホール	577人
28	ミュージアムフォーラム「私の版画」	12月16日	14:00~16:00	船坂芳助、堀江良一、 安藤真司	緑のホール	54人
29	版画史と「私」ミュージアムトーク	1月6日 2月2日 2月17日	14:00~15:00	安藤真司(1/6) 堀江良一(2/2) 船坂芳助(2/17)	企画展示室、美術工芸展示室	115人
30	ミュージアムフォーラム「モノを集めるということ」	1月26日	14:00~15:30	糸魚川淳二	研修室	25人
31	木版画のバレン作り	2月16、 17、24日	13:00~16:00 10:00~16:00	船坂芳助	工芸室	16人
32	サイエンスカフェ「東海丘陵要素植物の起源」	3月14日	15:00~17:30	植田邦彦	研修室	32人
33	春の森のコンサート	3月30日	14:00~15:00	安藤啓子	エントランスホール	71人
合計						2,512人

□ 定期講座

はたおり講座

No.	名称	開催日	時間	講師	会場	参加者
1	はたおり講座(初級)①	5月10日	10:00~15:00	生活体験ボランティア	生活体験館	5人
2	はたおり講座(初級)②	5月17日				5人
3	はたおり講座(初級)③	5月24日				5人
4	はたおり講座(初級)④	5月31日				5人
5	はたおり講座(初級)⑤	6月7日				5人
合計						25人

おとなのための植物観察会

No.	内容	開催日	時間	講師	会場	参加者
1	中之島公園から川合のムクノキあたりまで歩く	5月12日	10:00~13:00	自然史研究会	中之島公園	18人
2	下米田さくらの森から諏訪神社まで歩く	6月9日			下米田さくらの森	17人
3	坂祝シデコブシの自生地まで	10月13日			坂祝町	18人
4	七宗町ロックガーデンの植物へ	11月10日			七宗町	12人
5	加茂川沿いを歩く 文化の森から北東へ	3月9日			みのかも文化の森	14人
合計						79人

自然探検わくわくクラブ発見

No.	名称	期日	時間	講師	会場	参加者
1	活動の時のアイテムを作ろう	5月13日	10:00~15:00	自然史研究会	文化の森	19人
2	夏だ！川の生きもの探し	8月5日			川浦川	15人
3	秋の森を探検！	12月2日			中之島公園	19人
4	春の気配を探しに	2月3日			稲葉池	11人
合計						64人

アートな1日講座

No.	内容	期間	時間	講師	会場	参加者
1	スワロフスキーのネックレス	4月15日	13:00~16:00	七森尚子	工芸室	11人
2	陶芸	5月27日		後藤秀樹	陶芸室	18人
3	子育て女性応援企画 陶芸で作るうつわ	6月6日		後藤潤子	陶芸室	5人
4	夏休みのアートな1日	7月22日		当館学芸員	工芸室	24人
5	陶芸	9月30日		後藤秀樹	陶芸室	中止
7	水フェルトで作るミニポーチ	11月11日		深谷純子	工芸室	6人
8	高島純さんとクリスマスのペーパークラフト	12月2日		高島純	エントランスホール	21人
9	銅版画 ワークショップ メゾチント	1月20日		箱山朋実	工芸室	14人
10	陶芸	2月24日		後藤秀樹	陶芸室	33人
合計						132人

四季を食べる講座 各回 時間 10:00~13:00 会場 生活体験館 講師 伝承料理の会

No.	内容	期間	内容	参加者
1	家族でお祝い	4月15日	人生の節目が多いこの季節に、おいしいご飯を作りました。	11人
2	子育て女性応援企画 手作り豆腐	5月8日	大豆イソフラボンたっぷり、しっかり豆の味がする豆腐を作りました。	10人
3	古い道具だけで調理するんですII	5月20日	ガスも電気も使わず、古い道具だけで美味しく調理しました。	12人
4	達人に学ぶ	6月5日	漬物、干し野菜、ごぼうのさがき、クドのご飯炊きなどを学びました。	10人
5	梅干し	6月17日	梅干を漬けて、いろいろなものを作りました。	22人
6	本当のミョウガ寿司	7月3日	昔ながらの本当のミョウガ寿司を作りました。	16人
7	栗おこわ	9月23日	栗おこわを作りました。	14人
8	甘酒と麴漬け	10月2日	美の素・麴で簡単に甘酒、漬物を作りました。	20人
9	特別講座 おひまちとこんびら講	10月13日	各地域で今もまだ残る”おひまち”や各種の講を紹介しました。	13人
10	手作りこんにやく	11月18日	ゴツゴツした芋からプリンプリンのこんにやくを作りました。	20人
11	おせち料理と小正月	12月4日	正月のおせち料理と、その数日後の”小正月”のごちそうを作りました。	18人
12	文化の森の柿茶会	1月20日	柿寺の称号もある蜂屋の瑞林寺で毎年開催される柿茶会を行いました。	17人
13	手作りみそ	2月5日	色や味がだんだんと変化する手作りみそを作りました。	19人
14	おいしい民話	2月17日	このあたりに伝わる民話の中に登場する料理をいただきました。	12人
合計				214人

### フォレストくらぶ

No.	名称	期間	時間	内容	会場	参加者
1	春の企画展関連講座 わたしの大切な道具	6月2日	9:30～12:00	木のスプーンを作りました。	工芸室	23人
2	夏の企画展関連講座 ダムをみつめて	7月27日	9:00～12:30	丸山ダムを見学し、ダムに関わる歴史、文化、人々の暮らしを調べました。	丸山ダム	18人
3	さがしてみよう!! 水辺のいきもの	9月29日	9:30～12:00	川に住む生き物を採集し、観察しました。	近隣の小川、 工芸室	21人
4	冬の企画展関連講座 版画のみりよく	12月16日	9:30～12:00	森の材料などを使って、プレス機で版画を作りました。	工芸室、陶芸室	20人
5	小正月のかざり	1月12日	9:30～13:00	餅つきでついたお餅で、花餅を作りました。また、お雑煮を作ってくださいました。	生活体験館	19人
6	カレーな思い出	2月16日	9:30～14:00	グループで協力して、カレーを作りました。「わたしの大切な道具」で作った木のスプーンでいただいたりしました。	生活体験館、 調理室	22人
合計						123人

### ふらっとみゅーじあむ 各回 時間 13:30～15:30 会場 エントランスホール, 他

No.	名称	期間	内容	参加者
1	ばらりばらり	8月2日	紙のパズルを作りました。	50人
2	スケルトンしおり	8月9日	葉っぱを葉脈の姿にして、ラミネート加工しました。	51人
3	きらびか箱	8月16日	内側にアルミシートを貼った小箱に、いろいろな形の切り抜きを入れ、そこにセロファンシートを貼り、のぞくとキラキラ光るおもちゃを作りました。	52人
4	森の模様プリンティング	8月23日	森の植物を版画のように紙に写して、ブックカバーにしたり、飾りにしたりしました。	26人
合計				179人

### ていねいな暮らし講座

No.	名称	期間	時間	内容	参加者
1	鯉のぼり立て	4月21日～5月5日	-	鯉のぼりを立て、ショウブとヨモギを屋根にふきました。	-
2	お茶摘み	5月3日	9:30～12:00	お茶の葉をつんで、番茶を作りました。	10人
3	子育て女性応援企画 春を染める	6月14日	10:00～12:00	春の草木で絹布を染めました。	中止
4	七夕かざり	6月23日～7月7日	-	七夕をかざり、畑の野菜をそなえました。	-
5	真綿づくり	6月23日	10:00～12:00	カイコのまゆから真綿を作り真綿の用途を知りました。	11人
6	蚊帳つり	7月21日～8月31日	-	蚊帳をつり、夏じたくをしました。	-
7	夏を染める	8月4日	9:30～12:00	藍の生葉で絹布を染めました。	25人
8	二百十日	8月25日～9月9日	-	鎌を竹に結びつけて、風を追いました。	-
9	秋を染める	11月17日	9:30～12:30	秋の草木でTシャツを染めました。	5人
10	門松立て	12月15日～1月4日	-	かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立てました。	-
11	ひなかざり	2月9日～4月3日	-	ひな飾りをし、野山の花をそなえました。	-
合計					51人

### 夏休み子ども講座

No.	名称	期日	時間	講師・出演者	会場	参加者
1	チョウのはねリンプンの秘密①	7月21日	10:00～15:00	学芸員	工芸室	4人
2	さわってつくろう古代のアクセサリー	7月25日	13:30～15:00	学芸員	陶芸室	13人
3	はたおり	7月27日	9:30～11:30 13:00～15:00	生活体験ボランティア	生活体験館	7人
4	チョウのはねリンプンの秘密②	7月28日	10:00～15:00	学芸員	工芸室	8人
合計						32人

□ 森の朗読会 各回 時間 14:00～15:00 会場 緑のホール

No.	通算	名称	期日	参加者
1	第182回	「星に伝えて」「へそまがりの魔女」『呼んでみただけ』より 安東みきえ/作	4月21日	31人
2	第183回	「鼓くらべ」山本周五郎/作 「ねこはしる」工藤直子/作	5月19日	32人
3	第184回	「味噌漬け」『今日のごちそう』より 橋本 紡/作 「口紅」『ため息の時間』より 唯川 恵/作	6月16日	29人
4	第185回	ブックトーク ダムをさく 「カカシの夏休み」重松清/作 「下々の女」江夏美好/作 「セメント樽の中の手紙」葉山嘉樹/作 「水燃えて火 山師と女優の電力革命」神津カンナ/作	7月21日	65人
5	第186回	早稲田小劇場どらま館での朗読再演 「てのひら」『茗荷谷の猫』より 木内昇/作 「蔵の中」本興寺 更/作	8月18日	34人
6	第187回	「長良川」『星がひとつほしいとの祈り』より 原田マハ/作	9月15日	49人
7	第188回	「大黒漬」泡坂妻夫/作 「ミツバチの羽音」『再生』より 石田衣良/作	10月20日	44人
8	第189回	『むすびびと』より数篇 「百合子姫」「怪奇毒吐き女」一条真也/作 「お江戸に咲いた灼熱の花」北村薫/作 「ダーリンは演技派」『秘密。』より三浦しをん/作 「いろはに・こんべいとう」『独立記念日』より原田マハ/作	12月15日	53人
9	第190回	「あの人への年賀状」『嫁の遺言』より 加藤 元/作	1月19日	47人
10	第191回	「樺の木」『30%の幸せ』より 内海隆一郎/作 「ムシヤシナイ」『ふるさと銀河線』より 高田 郁/作	2月16日	86人
11	第192回	「松山鏡」藤沢周平/作 「驟り雨」「花の顔」乙川優三郎/作	3月16日	43人
合計				513人

□ 博学連携フォーラム

名称	期日	内容	会場	参加者
第15回 博学連携フォーラム 「作る・感じる・伝える」 ことから子どもたちが学 ぶもの	10月12日 9:00～17:00	今回のフォーラムでは、「制作・展示・鑑賞」の体験を通して、子どもたちが多様な視点や価値観を認めながら、自ら参加し、考え、好奇心が高まっていく学びの場を作るために、博物館や学校ができる役割や可能性について、参加者の皆様とともに考えました。 ○公開授業 *森、エントランスホールなど ・太田小学校第3学年 図画工作「博物館にかざろう」(小枝のえんぴつ作り) ○フォーラム *研修室 ・講演『生きている芸術“盆栽”だからできること —地域とともに、次の100年に向けて—』 講師:さいたま市大宮盆栽美術館 学芸員 石田留美子 氏 ・意見交流会	森 エントランスホール 研修室	150人

# 学校活用

## □ 学校活用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	392	1,017	1,155	409	201	349	1,154	1,876	782	756	995	315	9,401人
学年数	242学年				学級数	355組				内訳	小8,636人 中350人 幼保他415人		

### ・活動実施日総数

活動実施日 計130日 (活動可能日 計158日※1) 利用率82.28% ※1:式のある日は除く。  
 (29年度 活動実施日138日 (活動可能日 計157日) 利用率87.90%)

## □ 利用者数等の内訳

(単位:人)

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	29年度
利用団体数	7	15	20	8	7	5	23	28	13	14	16	4	160	166
市内	7	14	18	7	7	5	19	18	9	12	9	0	125	129
市外	0	1	2	1	0	0	4	10	4	2	7	4	35	37
小学校	7	15	17	2	0	5	16	27	13	12	15	4	133	138
中学校	0	0	2	3	0	0	7	0	0	2	0	0	14	15
幼・保・他	0	0	1	3	7	0	0	1	0	0	1	0	13	13

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	29年度
利用者数	392	1,017	1,155	409	201	349	1,154	1,876	782	756	995	315	9,401	10,003
市内	392	999	1,083	371	201	349	1,020	1,332	410	615	592	0	7,364	7,691
市外	0	18	72	38	0	0	134	544	372	141	403	315	2,037	2,312
小学校	392	1,017	1,096	166	0	349	1,000	1,836	782	715	968	315	8,636	9,183
中学校	0	0	16	139	0	0	154	0	0	41	0	0	350	426
幼・保・他	0	0	43	104	201	0	0	40	0	0	27	0	415	394

項目・月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	29年度
学級数	14	34	48	18	9	11	50	62	31	34	34	10	355	376
学年数	14	16	31	19	7	6	28	37	31	24	25	4	242	255
支援した学習ボランティア数	20	17	26	7	5	10	28	40	29	20	40	20	262	213
支援したその他のボランティア数	0	7	7	4	0	2	9	1	0	5	9	0	44	68

## □ 学年別活動教科数

学年・教科等	国語	社会	理科	生活	図工	総合	生活単元 ※2 自立活動	施設見学 昼食	卒園 制作	職業 体験	その他	合計	
1学年	9			26	2							37	
2学年	5			13	5							23	
3学年		34	5		2			1				1	43
4学年		15				1						16	
5学年		3	8			5		3			1	20	
6学年		10	8		1	3						22	
特別支援 その他						1	18					19	
中学校						3	1			6		10	
保育園								10				10	
合計	14	62	21	39	10	13	19	4	10	6	2	200 <sup>※3</sup>	

※2:「生活単元」は特別支援学級等の児童、生徒が行った学習の総称。

※3:団体数の合計(160)より教科の合計(200)が多いのは、1つの団体がいくつかの教科を行うことがあるため。「全学習内容」を参照。

## □ 開館以来の利用者数

(単位:人)

年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者数	8,174	8,080	8,442	7,705	6,248	7,552	8,311	8,538	8,543	7,416	8,713	9,309	9,724	9,614	10,033
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	累計										
利用者数	10,631	10,483	10,003	9,401	166,920										

(表の数値はすべて、のべ数です)

# 全学習内容

※総合＝総合的な学習の時間 図工＝図画工作 生単＝生活単元 学活＝学級活動 自立＝自立活動 「」は単元名

月	日	曜	学校・学年	学習内容	
4	18	水	伊深小えがお学級	自立「かまどでごはん」:かまどでご飯を炊く、施設見学(常設展示室・タワー)、おにぎり作り、試食、けん玉、みのかもすごろく、春見つけ、企画展見学	
	19	木	蜂屋小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡の見学、遺物探し、縄文土器作り	
	20	金	山之上小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡の見学、寸劇・復元衣装体験、遺物探し、縄文土器作り	
	24	火	下米田小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡の見学、復元衣装体験	
	25	水	山手小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡の見学、復元衣装体験、遺物探し	
	26	木	蜂屋小ひまわり・たんぼぼ	生活単元「かまどでごはん」:ご飯炊きの準備、シバ拾い、かまどでご飯を炊く、春見つけ(森散策)、おにぎり・味噌汁作り、試食、片付け	
	27	金	太田小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:「天皇中心の国づくり」:常設展示室・土器整理室・住居跡の見学、復元衣装体験、遺物探し、縄文土器作り	
5	8	火	山之上小5年	総合「米作りの一年」:米作りの道具の学習、民具展示館の見学、古代米の学習、企画展の鑑賞	
	9	水	三和小5・6年	社会科「米作りのさかんな地域」総合「共に生きる」:今と昔の米づくりの違いの学習、田おこしから草ひきの道具の学習、脱穀と精米に関わる道具の見学と体験、企画展の鑑賞	
	10	木	古井小2年	生活科「春のさがそう」:春の植物・虫の話(南の森・北の森で生き物見つけや草花観察)、図工「つないでどんどん」:森の木で作品作り、常設展・企画展・タワー見学	
	11	金	伊深小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡の見学、復元衣装体験、遺物探し、縄文土器作り	
	15	火	加茂野小4年	社会科「火事がおきたら」:文化の森消火設備(イナージェン・企画展示室・エントランス・事務所)調べ・見学、(消防署の見学)	
	16	水	下米田小3年	社会科「わたしのまちみんなのまち」:市内見学のまとめ、タワーから東西南北の確認、みのかもすごろく、企画展見学、(市内見学)	
	18	金	山手小2年	生活科「生きものなかよし大作せん」:北の森・南の森で草花観察、「町たんけん」:文化の森施設探検、働いている人に質問、国語科「たんぼぼのちえ」:植物や鳥のお話、感想交流、図工「どんどんならべて」:森の木で作品作り	
	22	火	伊深小5年	社会科「米作り」家庭科「朴葉寿司づくり」:かまどでご飯を炊く、朴の木の葉を採る、朴葉寿司作り、片付け、米作りに関わる道具の学習(企画展、民具展示館、常設展示室)	
	23	水	山之上小2年	国語科「たんぼぼのちえ」:たんぼぼや虫のお話の読み聞かせ、生活科「春をさがそう」:たんぼぼのお話、春の植物(南の森で草花観察)、春の森ビンゴ、企画展見学	
	24	木	古井小4年	「ごみのしよりと利用」:昔のごみの処理と利用のお話、社会科「火事からくらしを守る」:文化の森の消火設備(イナージェン・企画展示室・エントランス・事務所)調べ・見学、(ささゆり見学)	
	25	金	加茂野小2年	生活科「はるがいっぱい」:北と南の森探検、春の森のビンゴ 国語科「たんぼぼのちえ」:たんぼぼと虫のお話、図工「ちょうこくにしたしむ」:森の彫刻鑑賞、企画展・タワーの見学	
29	火	蜂屋小3年	社会科「市のようす」:市の見学、市内見学のまとめ、航空写真から見る市の様子、タワーから東西南北の確認、方位磁針の読み方、企画展見学		
30	水	山手小3年	理科「チョウを育てよう」:昆虫の話、チョウのたまご・昆虫標本観察、理科「どれくらい育ったかな」:ドングリの芽の観察、植物のつくりについて、社会科「わたしのまちみんなのまち」:航空写真から見る市の様子、タワーから東西南北の確認		
31	木	下米田小4年	社会科「火事からくらしをまもる」:文化の森消火設備(イナージェン・企画展示室・エントランス・事務所)調べ・見学、まとめ、企画展見学、(消防署の見学)		
			白川町立蘇原小6年	社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」:常設展示室・住居跡・土器整理室の見学、遺物探し、縄文土器作り	
6	1	金	太田小2年	生活科「初夏のずかん」:南の森観察、初夏の森ビンゴ、てんじしつをしろうビンゴ、読み聞かせと博物館探検	
	5	火	三和小3・4年	社会科「わたしのまちみんなのまち」:航空写真から見る市の様子、タワーから東西南北の確認、まとめ、みのかもすごろく、理科「チョウの体」:昆虫の話、チョウのたまご・昆虫標本の観察	
	6	水	伊深小2年	生活科「初夏のしよく物を見つけよう」:北の森・南の森探検、常設展示室で標本観察、クワの実のお菓作り、国語科「たんぼぼのちえ」:たんぼぼや種に関する絵本の読み聞かせ	
				八百津町立八百津小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、道具体験(石臼・箱前、ランプ)、民具展示館見学
	7	木	山手小1年	社会科「なつだあそぼう」:館内たんけん(タワー、常設展示室)、北の森たんけん、春の森ビンゴ	
				東中2年	総合「職業体験」:準備、片付けなど
	8	金	山手小6年	図工・社会科「縄文土器づくり」:縄文土器づくり	
				東中2年	総合「職業体験」:準備、片付けなど
	12	火	美濃市かえで保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱのお皿づくり、館内見学	
	13	水	加茂野小3年	社会科「わたしのまちみんなのまち」:航空写真から見る市の様子、タワーからの東西南北の確認、みのかもすごろく、理科「こん虫を調べよう」:昆虫の話、ドングリの芽・昆虫標本・チョウのたまごの観察、図工「サクサク小刀名人/小枝の鉛筆」:小刀を使った作品づくり	
	14	木	太田小4年	社会科「水はどこから」:昔の水についての話、(浄水場・ダムの見学)	
	15	金	山之上小3年	社会科「わたしのまちみんなのまち」:みのかもすごろく、(市内見学)、理科「こん虫を調べよう」:昆虫の話、チョウのたまご・幼虫・昆虫標本観察	
	19	火	蜂屋小2年	生活科「生きものなかよし大作せん」:北・南の森散策、生き物に関する絵本の読み聞かせ、タワー見学、森のビンゴ	
	20	水	伊深小3年	社会科「わたしのまちみんなのまち」:見学の振り返り、航空写真で見る市の様子、タワーから東西南北の確認、みのかもすごろく、常設展示室見学(市内見学)	
	21	木	加茂野小1年	生活科「なかよくあそぼう」:常設展示室ビンゴ、昔の遊び(けん玉、お手玉、おはじき)、北の森の散策、生き物やドングリに関する絵本の読み聞かせ	
	22	金	山手小ひまわり学級	生活単元・自立活動「オリエンテーリング・化石のレプリカ作り」:デザート作り、オリエンテーリング、化石のレプリカ作り、デザート試食	
	26	火	古井小おおぞら学級	生活単元「まゆの家で食事をしよう」:かまどでご飯を炊く、五平餅作り、昔遊び(竹馬、リム回し、竹ばつくり、お手玉、おはじき、けん玉、カルタ)	
	27	水	山之上小1年	生活科「なつだあそぼうよ」:北・南の森散策、森のビンゴ、常設展示室の見学、タワー見学	
28	木	蜂屋小4年	社会科「水はどこから」:昔と今の水についての話、(浄水場の見学)		

月	日	曜	学校・学年	学 習 内 容
6	29	金	加茂野小6年	総合・社会科「日本の文化にふれよう」:お茶体験、墨絵体験、生け花体験
7	3	火	のぞみ教室	生活単元「文化の森たんけん／にほんごくいず」:自己紹介と名札作り、日本語クイズ、常設展示室・タワー見学
	5	木	双葉中1年	総合「地域を知る①」:加茂地域の生き物を描こう(美術)、真綿作り(産業)、勾玉作り(歴史)、古文書(国語)、逍遙と演劇(演劇)
	10	火	西中けやき学級	総合「秀吉が愛した(ような)抹茶茶碗を作ろう」:抹茶茶碗作り
	11	水	下米田小6年	総合「日本文化体験」:茶の湯体験、墨絵体験
	13	金	東中わかば・にじ組	生活単元「食器(皿)を作ろう」:皿作り
	19	木	太田小5年	総合「みんなしあわせ」:車いす体験、白杖・アイマスク体験、バリアフリー調べ
	20	金	下米田保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
	31	火	川辺町第一こども園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱのお皿づくり、館内見学(常設展)
8	1	水	ほくぶ保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
	28	火	太田第二保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
			古井第一保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
	29	水	古井第二保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
			加茂野保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
	30	木	蜂屋保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
	31	金	太田第一保育園	卒園制作「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱを集める、お皿作り、施設見学(タワー、常設展)
9	11	火	三和小5・6年	総合「知恵を引き継ぐ」、社会科「米づくりのさかんな地域」:ご飯を炊く、焼き場の準備、五平餅作り、五平餅を焼く、五平餅の話
	19	水	下米田小4年	社会科「ごみのしよりと利用」:約60年前のごみの話、(ごみ処理施設の見学)
	26	水	太田小2年	生活科「みんなであそぼう」:「もつとなかよしまちたんけん」:博物館とそこで働く人、企画展見学、館内くふうみつけ(正面玄関、多目的トイレ、エレベーター)、図工「つないでつるして」:森の木で作品づくり
	27	木	蜂屋小4年	社会科「ごみのしよりと利用」:約60年前のごみの話、(ごみ処理施設の見学)
	28	金	古井小6年	社会科「今に伝わる室町文化」、総合「つなぐ世界と」:茶の湯体験、生け花体験、墨絵体験
10	3	水	古井小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察
	4	木	加茂野小4年	社会科「きょう土を開く」:堤防・福田太郎八の話、太郎洞池を歩く、堤防造りの道具の体験と話、(ごみ処理施設の見学)
	5	金	伊深小2年	図工「おもいでをかたちに(葉っぱのお皿作り)」:葉っぱのお皿作り、生活科「みんなであそぼう」:博物館とそこで働く人、文化の森施設のやさしさみつけ(正面玄関、エレベーター、多目的トイレ)
			八百津町立和知小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火おこし、道具体験(石臼・箱膳・ランプ)、民具展示館見学
	11	木	下米田小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、広橋)、化石林公園の観察、土質標本の観察、常設展示室の見学
	12	金	太田小3年	図工「博物館にかざろう」:材料集めの話、森で材料を集める、小枝の鉛筆づくり、作品をみてもらおう(展示)
	16	火	伊深小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察
			御嵩町立上之郷小5年	施設見学・昼食
			西中2年	総合「職業体験」:準備、片付けなど
	17	水	蜂屋小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、中部台、加茂神社、広橋)、化石林公園の観察、岩石標本の観察、常設展示室でのまとめ
			西中2年	総合「職業体験」:準備、片付けなど
	18	木	太田小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、広橋、伊深)、化石林公園の観察、常設展示室でのまとめと見学
			双葉中2年	総合「職業体験」活動支援、準備、片付けなど
	19	金	白川町立白川北・白川・佐見小1・2年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋見つけ・材料集め、秋の森ビンゴ、どんぐりゴマ・やじろ・ペエ・マラカス・どんぐりヘリコプター作り
			恵那市立大井小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火おこし、道具体験(箱膳、石臼)
双葉中2年			総合「職業体験」活動支援、準備、片付けなど	
23	火	加茂野小5年1・2組	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察、まとめ、9.28災害について	
24	水	加茂野小5年3・4組	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察、まとめ、9.28災害について	
25	木	双葉中1年	総合「地域を知る②」:細密画・水で色を塗ろう(美術)、機織・着付け体験(産業)、城下町探検(歴史)、くずし文字(国語)、シェイクスピアを演じてみよう(演劇)	
26	金	山手小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、広橋、加茂神社)、化石林公園の観察、岩石標本の観察、常設展示室の見学	



月	日	曜	学校・学年	学 習 内 容
10	30	火	西中けやき学級	総合「室町時代から続く日本の伝統文化を体験しよう」:墨絵体験、お茶体験
	31	水	下米田小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察
	31	水	東中わかば・にじ組	生活単元「バウムクーヘンを焼こう」:バウムクーヘン作り
11	1	金	太田小1年	生活科「あきをさがそう」:秋みつけ(どんぐり、ヒノキの実、木の枝など)、どんぐりごま作り、どんぐりヘリコプター作り)
	2	木	山之上小4年	社会科「ごみのしよりと利用」:昔のごみの処理と利用のお話、「きょう土を開く」:堤防・福田太郎八の話、太郎洞池を歩く、堤防造りの道具の体験と話
			川辺町立川辺東小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、ヒノキの実、木の枝など)、どんぐりゴマ・やじろべえ作り、常設展示室見学
	6	火	伊深小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(牛牧、正眼寺、太田橋下、加茂神社、広橋、瑞林寺北)、化石林公園の観察、緑のホール・常設展示室でのまとめ
			中津川市立西小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房・ランプ)
			東白川村立東白川小3年	施設見学・昼食
	7	水	のぞみ教室	生活単元「五平餅作り」:五平餅作りについての話、かまどでご飯を炊く、五平餅作りの準備、五平餅作り、五平餅を焼く、試食、後片付け、施設見学(タワー・常設展示室)
	8	木	加茂野小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝など)、どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター作り、図工「ならべてつないで」:森の木で作品づくり、感想交流会
	9	金	蜂屋小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の枝、葉など)、壁飾り作り)
			八百津町立八百津小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋見つけ(どんぐり、スギ・ヒノキの実、木の枝)、どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター・やじろべえ・マラカス・けん玉・アクセサリー作り、常設展示室・タワー見学
	13	火	古井小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝など)、どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター作り、常設展示室・タワー見学)
	14	水	下米田小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝など)、どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター作り、常設展示室・タワー・市美術展見学)、図工:「どんでんならべて」:森の木で作品づくり、感想交流会
	15	木	山手小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察
			伊深小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝など)、壁飾り・どんぐりゴマ・やじろべえ作り、常設展示室・タワー・市美術展見学
			三和小1・2年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝など)、壁飾り・どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター作り、常設展示室見学
			可児市立土田小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝など)、壁飾り・どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター作り、常設展示室見学
	20	火	加茂野小2年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、ヒノキの実、木の葉や枝など)、森のビンゴ
			可児市立今渡北小3年	施設見学
	21	水	山之上小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、広橋)、化石林公園の観察、岩石標本の観察、常設展示室でのまとめ
			恵那市立長島小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼・箱膳・ランプ)
	22	木	下米田小2年	生活科「みんなでつかわちのしせつ」:館内やさしさみつけ(正面玄関、エレベーター、階段、自動販売機など)、文化の森で働く人たち、常設展示室(ビンゴ)(図書館、駅見学)
			東白川村立東白川小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり)、どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター作り、森のビンゴ
	27	火	太田小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察
			白川町立佐見小5年	施設見学・昼食
			東白川村立東白川小5年	施設見学・昼食
	28	水	古井小4年	社会科「きょう土を開く」:福田太郎八の話、太郎洞池を歩く、堤防造りの道具の話と体験
	29	木	蜂屋小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の観察
30	金	古井小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、広橋)、化石林公園の観察、岩石標本の観察、常設展示室でのまとめ	
12	4	火	山之上小2年	生活科「みんなでつかわちのしせつ」:文化の森施設のやさしさみつけたんけん(エレベーター、階段、車いす、点字ブロック、自動販売機、駐車場、あい愛バス、など)、施設見学(タワー・常設展示室)、(駅見学)
			富加町立富加小6年	理科「大地のつくりと変化」:地層観察(太田橋下、広橋)、化石林公園の観察、ボーリング資料の観察、常設展示室でのまとめ)
	5	水	山手小4年	社会科「きょう土を開く」:福田太郎八・ため池・古文書の話、堤防造りの道具の体験と話
	6	木	伊深小4年	社会科「きょう土を開く」:堤防・福田太郎八の話、太郎洞池を歩く、堤防造りの道具の体験と話
			川辺町立川辺西小1年	生活科「たのしいあきいっぱい」:秋みつけ(どんぐり、木の葉や枝)、どんぐりゴマ・どんぐりヘリコプター・けん玉・マラカス作り)、施設見学(常設展示室・タワー)
	7	金	多治見市立精華小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(箱膳、石臼、ランプ)
	12	水	古井小おおぞら学級	生活単元「リース作りをしよう」:森探検、森のリース作り、施設見学(常設展示室、タワー)
			蜂屋小ひまわり・たんぼぼ学級	生活単元「もちつき体験」:餅つき体験、七厘で火起こし、雑煮作り、昔遊び
	13	木	山手小ひまわり学級	生活単元・自立活動「収穫祭をしよう」:けんちん汁・焼きおにぎり・焼き芋作り、七厘で火起こし、炊きつけ集め、食事会
	14	金	加茂野小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」:洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)

月	日	曜	学校・学年	学 習 内 容
12	18	火	下米田小4年	社会科「きょう土を聞く」: 福田太郎八・堤防の話、太郎洞池を歩く、堤防造りの道具の体験と話
	19	水	伊深小えがお学級	生活単元「文化の森へ行こう」: お正月を楽しむ」: もちつき準備、餅つきと花餅用の餅づくり、試食、花餅作り、昔遊び(カルタ、おはじき)
	20	木	多治見市立滝呂小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)
1	9	水	関市立安桜小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)
	10	木	西中けやき	生活単元「餅に願いを込める～輝ける2019年にするため～」: 餅つき体験、七厘で火起こし、焼き芋・おしるこ・雑煮作り、試食
	11	金	東中わかば・にじ組	生活単元「新春を祝う」: 餅つき体験、七厘で火起こし、焼き芋・おしるこ作り、試食
	16	水	太田小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)
	17	木	古井小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: ぶんぶんごま作り、昔遊び(けん玉、おはじき、お手玉)、常設展示室・企画展見学
	18	金	山之上小5年	総合「五平餅作り」: お米の話、かまどの話、蒔き割り体験、七厘の準備、火おこし、五平餅作り、試食、後片付け、企画展見学
	22	火	蜂屋小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)
	23	水	下米田小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)、民具展示館見学
	24	木	伊深小1年 三和小1・2年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、音読、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: ぶんぶんごま作り、昔の遊び(竹とんぼ、「みんなであつちまのしせつ」: 博物館とそこで働く人、くふうみつけ(正面玄関、多目的トイレ、エレベーター、自動販売機)
	25	金	山手小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: ぶんぶんごま作り、昔の遊び(けん玉、竹とんぼ、コマ、お手玉)
	29	火	山之上小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: ぶんぶんごま作り、昔遊び(コマまわし、竹とんぼ、おはじき、お手玉)
30	水	川辺町立川辺西小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: ぶんぶんごま作り、昔の遊び(ぶんぶんごま作り、昔遊び(竹とんぼ、お手玉、けん玉、こま、おはじき、あやとり))	
31	木	太田小なかよし	自立・生活単元「お餅つきに行こう」: 餅つきの準備、七厘で火起こし、餅つき体験、餅焼き、試食、昔遊び(かるた、おはじき、福笑い、けん玉、けんば、コマ)	
2	1	金	古井小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)
	5	火	古井小2年	国語科「スーホの白い馬」: 朗読を聴く、朗読のアドバイス、群読発表、生活科「冬のくらし」: 冬のお話の朗読会、冬の森ビンゴ
	6	水	伊深小3年 三和小3・4年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)
	7	木	山手小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)
	8	金	関市立田原小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)、民具展示館見学
	13	水	川辺町立川辺西小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)、民具展示館見学、施設見学(企画展・常設展示室・タワー)
	14	木	山之上小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)、民具展示館見学
	15	金	太田小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: 昔遊び(竹とんぼ、けん玉)、ぶんぶんごま作り、常設展示室ビンゴ
	19	火	東白川村立東白川小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)、民具展示館見学、常設展示室見学
	20	水	のぞみ教室	生活単元「日本文化体験」: 茶の湯体験、墨絵体験、施設見学(常設展示室・タワー)
	21	木	可児市立今渡南小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)
	22	金	蜂屋小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「昔あそび」: ぶんぶんごま作り、昔遊び(竹とんぼ、おはじき)
	26	火	富加町立富加小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)、常設展示室見学
27	水	可児市立東明小1年	国語科「たぬきの糸車」: 朗読を聴く、糸車体験、まゆの家探検、生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」: ぶんぶんごま作り、昔遊び(コマまわし、竹とんぼ、おはじき、お手玉、けん玉)、冬の森ビンゴ	
28	木	可児市立土田小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)、民具展示館見学、常設展示室見学	
3	1	金	川辺町立川辺西小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼)、民具展示館見学
	5	火	多治見市立小泉小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、暖房)
	6	水	坂祝町立坂祝小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)
	7	木	可児市立桜ヶ丘小3年	社会科「古い道具と昔のくらし」: 洗濯板・炭火アイロンの体験、七厘で火起こし、道具体験(石臼、箱膳、ランプ)

# 収集・保存・整理・調査・その他

## □ 資料収集

### ① 購入

No.	分類	名称	点数	作者・制作者など	時期
1	歴史資料	沿道工事設計 参考資料	1	土木局土木課	1918年
2	"	ずいひつ 牛歩七十年	1	河竹繁俊	1960年
3	"	古事記及び日本書紀の研究 建国の事情と万世一系の思想	1	津田左右吉	2018年
4	図書資料	飛騨川水力開発史	1	東邦電力内 入江士	1939年

### ② 寄贈

No.	分類	名称	点数	製作者・時期など	寄贈者
1	美術品	夜光	1	安藤真司	渡邊峰夫氏
2	"	松に鶴ノ図	1	岡本一平	森俊郎氏
3	"	布袋ノ図	1	岡本一平	森俊郎氏
4	"	梅の木	1	岡本一平	森俊郎氏
5	"	双幅 別府温泉／日田鶴飼ノ図	2	岡本一平 岡本かの子賛	森俊郎氏
6	"	比良暮雪	1	山出勝治	山出勝治氏
7	"	My Space and My Dimension M173	1	船坂芳助	船坂芳助氏
8	"	My Space and My Dimension M203	1	船坂芳助	船坂芳助氏
9	"	My Space and My Dimension M247	1	船坂芳助	船坂芳助氏
10	"	My Space and My Dimension M339	1	船坂芳助	船坂芳助氏
11	"	My Space and My Dimension M356	1	船坂芳助	船坂芳助氏
12	"	My Space and My Dimension M498	1	船坂芳助	船坂芳助氏
13	"	My Space and My Dimension M499	1	船坂芳助	船坂芳助氏
14	"	My Space and My Dimension M542	1	船坂芳助	船坂芳助氏
15	"	My Space and My Dimension M543	1	船坂芳助	船坂芳助氏
16	"	My Space and My Dimension M862	1	船坂芳助	船坂芳助氏
17	"	My Space and My Dimension M863	1	船坂芳助	船坂芳助氏
18	"	作品名不詳	1	船坂芳助	船坂芳助氏
19	"	作品名不詳	1	船坂芳助	船坂芳助氏
20	歴史資料	瑠璃光薬師如来坐像	1	室町時代	光徳寺
21	"	日光菩薩立像	1	-	光徳寺
22	"	月光菩薩立像	1	-	光徳寺
23	"	不明木製品	2	-	光徳寺
24	"	小田島家文書	228	近世、近現代	小田島寛人氏
25	民俗資料	ヒナ人形	3	昭和	佐合たゑ氏
26	"	下向きランプ	1	昭和	渡邊剛氏
27	"	弁当箱	1	昭和	可児光生氏
28	"	弁当箱	1	昭和	可児光生氏
29	"	槌	1	昭和	可児光生氏
30	"	鉛筆	1	平成	岡本信也氏
31	"	鉛筆	8	平成	加藤啓子氏
32	"	鉛筆	28	平成	船坂興子氏
33	"	鉛筆	32	平成	草刈清人氏
34	"	人形	3	昭和	佐々木理衣氏
35	"	偉人エバナシ	1	昭和	佐々木理衣氏
36	"	ミズマクラ	2	昭和	高島路子氏
37	"	ワタノミトリキ	1	昭和	河村具美氏
38	"	スネアテ	1	大正	後藤靖子氏
39	"	羽根つきのハネ	1	昭和	後藤靖子氏
40	"	フロシキ	1	昭和	後藤靖子氏
41	"	国旗(戦時中の寄書き有)	1	昭和	佐野綾目氏
42	自然史資料	断層写真		1975年頃	山岡光彦氏
43	"	チョウ標本		1988年～1992年	白川町社会教育課様
44	"	昆虫(タガメ)		2018年	なかしまりょうた氏
45	"	自然史資料スライド		1978年～1988年	安藤志郎氏
46	"	哺乳類頭骨等標本		1986年～2018年	村瀬正成氏

□ 資料保存

・燻蒸作業

寄贈等のあった資料の燻蒸は専門業者へ委託し、2回実施した。

(1) 9月16日～9月18日：被覆燻蒸の容量約6m<sup>3</sup>(2m×2m×1.5m)、薬剤は酸化エチレン製剤。

(2) 3月23日～25日：被覆燻蒸の容量約18m<sup>3</sup>(6m×2m×1.5m)、薬剤はフッ化スルフリル。

・モニタリング調査と対応

7月28日～8月10日・3月16日～29日において、収蔵庫や展示室等をはじめとする館内に粘着トラップを設置した。調査によって、資料を加害するシミ類等が確認されたため、必要な箇所について清掃等を実施した。その後の大きな影響は認められなかった。

□ 博物館実習

平成30年7月24日(火)～7月28日(土)

日程	時限	担当	内 容	場 所	形 式	備 考
7/24 (火)	1	藤村	オリエンテーション、館内見学	館内・外		
	2	藤村	博物館の理念と事業	会議室	講義	文化の森の理念と事業
	3	和歌	展覧会の企画と運営①	会議室ほか	実習・講義	企画展準備～開催(調査研究含む)
	4	村瀬	博物館資料の取り扱い	展示棟学芸員室前	実習・講義	歴史・工芸分野
7/25 (水)	1	和歌	屋外彫刻の鑑賞と整備	文化の森	実習	文化の森ボランティアとの協同
	2					
	3	藤村	教育普及事業の実践	工芸室	講義・実習	夏休み子ども講座「古代のアクセサリーづくり」支援等
	4					
7/26 (木)	1	長谷川	子どもたちと博物館	会議室	講義	学校活用、「ふらっとみゅーじあむ」、講座準備等
	2					
	3	渡辺	民俗資料の整理	別棟収蔵庫ほか	講義・実習	展示・講座活動含む
	4	藤村	展覧会の企画と運営②	企画展示室ほか	講義・実習	開催中の企画展
7/27 (金)	1	藤村	展覧会の企画と運営③	丸山ダム	実習	関連事業の企画と運営、フォレストくらぶ参加(ダムツアー)
	2					
	3	西尾	自然史資料の取り扱いと整理	別棟収蔵庫ほか	実習	資料の整理、台帳整備
	4					
7/28 (土)	1	藤村	収蔵庫の環境と管理	収蔵庫2	実習	
	2					
	3	藤村	博物館と危機管理	館内	講義・実習	IPM、利用者の安全とリスク
	4	藤村	実習レポートの作成	研修室	—	

岐阜聖徳学園大学(2名)、岐阜女子大学(1名)、名古屋造形大学(1名)

\*五十音順

□ 刊行物等

名称	価格	発行年月	判型	頁数
みのかも文化の森年報 Vol. 18	-	平成 30 年 9 月	A4	46
夕雲の城外伝 猿啄の春	300	平成 31 年 2 月	A5	78
活用の手引き・活用実践集 平成 30 年度版	-	平成 31 年 3 月	A4	150
美濃加茂市民ミュージアム紀要 第 18 集	500	平成 31 年 3 月	A4	88
中村裕太展記録集「日本ラインの石、岐阜チョウの道」	400	平成 31 年 3 月	A5	95
守りたい加茂の豊かな自然	2,500	平成 31 年 3 月	A4	321
守りたい加茂の豊かな自然 概要版	-	平成 31 年 3 月	A4	6
「瑞林寺 500 年のはるかな旅展」図録	300	平成 31 年 3 月	A5	40

□ 報道関係に掲載・紹介された状況

(単位：件)

	新聞	雑誌等	テレビ	ラジオ	その他
展覧会	12	52	5	0	13
講座	3	33	0	0	10
イベント	17	15	5	1	20
その他	26	2	0	0	3

□ 収蔵資料の公開と活用

①文化の森ホームページの公開状況

(単位：件)

	歴史	民俗	図書	美術	歴史写真	広報写真	植物	動物	考古	合計
平成 30 年度	19,648	5,493	26,520	1,470	1,543	516	4,557	4,729	3,596	68,072
平成 29 年度	19,540	5,358	26,080	1,430	1,543	516	4,557	4,714	3,566	67,304
比較	108	135	440	40	0	0	0	15	30	768

②資料・作品の貸し出し、閲覧状況

(単位：件)

	歴史	民俗	図書	美術	自然	画像	考古	その他	合計
件数	119	34	15	0	11	21	115	13	328

## 施設の利用状況

### 文化の森施設の利用状況

#### □ 文化の森利用者数

(単位：人)

	常設展	企画展	学校活用	講座イベント等	市民活動	貸館	教育センター等	視察	その他	合計
4月	1,493	538	392	293	167	1,373	166	0	442	4,864
5月	1,584	2,415	1,017	329	270	1,309	264	15	720	7,923
6月	1,636	441	1,155	224	283	6,058	285	15	1,010	11,107
7月	1,528	964	409	227	235	1,850	394	5	561	6,173
8月	1,866	1,474	201	356	230	1,993	80	0	620	6,820
9月	2,040	344	349	421	216	3,762	179	0	731	8,042
10月	1,532	749	1,154	1,134	250	1,364	310	34	653	7,180
11月	1,929	2,285	1,876	620	284	2,100	323	5	942	10,364
12月	1,691	606	782	186	182	3,539	177	0	716	7,879
1月	853	1,001	756	182	186	860	215	0	405	4,458
2月	1,034	1,427	995	199	256	1,719	230	0	586	6,446
3月	1,435	130	315	367	164	2,310	229	0	495	5,445
合計	18,621	12,374	9,401	4,538	2,723	28,237	2,852	74	7,881	86,701
前年度	20,928	11,756	10,003	5,277	2,480	30,268	3,855	142	8,471	93,180

#### □ 市民の展示活動等

(単位：人)

番号	名称	団体名	日付	会場	入場者
1	美濃加茂市美術連盟展	美濃加茂市美術連盟	6月10日～6月17日	市民ギャラリー	1,113
2	牧水会作品展	牧水会	6月19日～6月24日	市民ギャラリー	478
3	絵歩里サークル作品展	絵歩里サークル	6月26日～7月1日	市民ギャラリー エントランスホール	1,126
4	銅版画サークルプリント作品展	銅版画サークルプリント	6月26日～7月8日	展示ホール	138
5	ラインフォトクラブ30周年記念展	ラインフォトクラブ	7月5日～7月8日	市民ギャラリー	227
6	伊勢型紙作品展示	游の会	2月5日～2月17日	展示ホール	130
7	福住勝彦、渡辺誠治 2人展	福住勝彦、渡辺誠治	3月12日～3月21日	市民ギャラリー	701
8	竹サークル作品展	竹サークル	3月19日～3月24日	エントランスホール	443
合計					4,356

#### □ 津田左右吉博士記念館利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	86	146	154	96	77	100	117	199	97	155	148	177	1,552
平成29年度	32	57	87	50	46	64	44	86	46	76	40	62	690
比較	54	89	67	46	31	36	73	113	51	79	108	115	862

#### □ 旧太田脇本陣林家住宅 隠居家見学者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	729	810	486	196	379	354	1,195	647	311	273	337	777	6,494
平成29年度	613	1,154	1,136	375	447	526	1,145	810	561	424	507	1,155	8,853
比較	116	△ 344	△ 650	△ 179	△ 68	△ 172	50	△ 163	△ 250	△ 151	△ 170	△ 378	△ 2,359

## 組織・構成・その他

### □ 職員

みのかも文化の森所長 1人 (兼務：美濃加茂市市民協働部文化振興課長)  
 美濃加茂市民ミュージアム館長 1人  
 総務係 5人  
 学芸係 12人  
 学習係 4人 ※ 4月～9月に三重県総合博物館職員派遣1人

計 23人 (正規職員7人、嘱託職員5人、臨時職員11人) 内学芸員有資格者6人

### □ 各種委員

- ・みのかも文化の森運営協議会 8人
- ・市民ミュージアム専門委員 5人
- ・文化の森活用委員会 14人

### □ ボランティア活動 (複数登録しているボランティアは、代表分野に登録者数としてカウント)

分 野	登録者数	主 な 活 動 内 容
展示ガイドボランティア	5人	地域の調査・ミニ展示などを行う
アートボランティア	8人	展示会関連企画や講座のサポートなどを行う
生活体験ボランティア	35人	生活体験館で昔の遊びや暮らし体験などを行う
学習支援ボランティア	24人	学校活用での子どもたちの指導や支援などを行う
伝承料理の会ボランティア	35人	四季を食べる講座の開催や伝統的な食べ物の記録などを行う
イベントボランティア	14人	文化の森で行う事業や演劇のサポートなどを行う
合 計	112人	

### □ かるちすとくらぶ

「みのかも かるちすと くらぶ」は、みのかも文化の森と美濃加茂市文化会館共通の友の会です。入会の手続き方法は、みのかも文化の森、美濃加茂市文化会館にある申込用紙に必要事項をご記入の上、年会費1,200円をそえてお申し込みください。

主な特典は、美濃加茂市民ミュージアムの情報誌「ミュージアムニュース」や「文化会館だより」の郵送、美濃加茂市民ミュージアム企画展の観覧料無料や美濃加茂市文化会館自主事業の先行予約、入場料割引などがあります。

入会されますと、裏面がスタンプカードの会員証をお渡しし、スタンプは、文化会館自主事業への参加は2ポイント、みのかも文化の森・美濃加茂市民ミュージアム有料企画展(会員は無料)をご覧になったときは1ポイントを押印します。スタンプが6ポイントたまったら、みのかも文化の森喫茶室のドリンク券をプレゼントします。

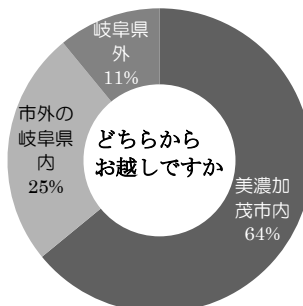
また、入会時に喫茶室のドリンク券プレゼント、12月には絵本作家高島純氏のオリジナルカレンダープレゼントや、文化・芸術に触れる日帰り研修バスツアーへの参加特典もあります。

## 森のアンケート 集計

この集計は「使い込むほどに 暮らしの今むかし展」、「ダム - 木曾川・飛騨川 - 展」、「中村裕太 | 日本ライ  
ンの石、岐阜チョウの道」、「版画史と「私」 船坂芳助・堀江良一・安藤真司を中心に」、「蚕とまゆ展」、  
「ていねいな暮らしと道具展」、来場者によるアンケート結果をまとめたものです。

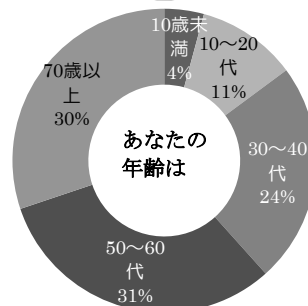
### どちらからお越しですか？ (人)

美濃加茂市内	185
市外の岐阜県内	130
岐阜県外	74
計	389



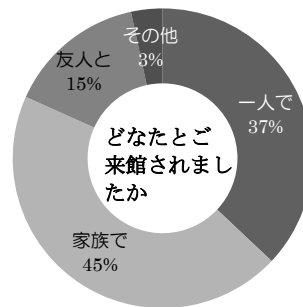
### あなたの年齢は？ (人)

10歳未満	19
10～20代	48
30～40代	106
50～60代	142
70歳以上	136
計	451



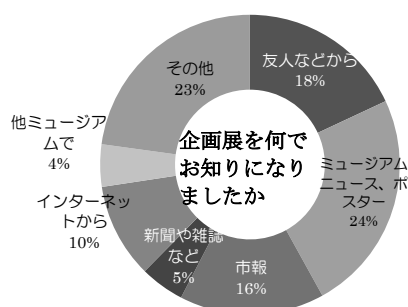
### どなたとご来館されましたか？ (人)

一人で	164
家族で	198
友人と	66
その他	15
計	443



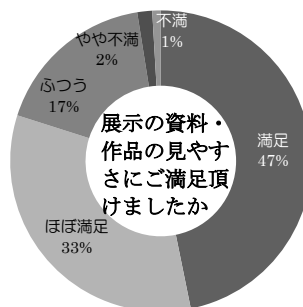
### 企画展を何でお知りになりましたか？ (人)

友人などから	83
ミュージアムニュース、ポスター	110
市報	72
新聞や雑誌など	22
インターネットから	47
他ミュージアムで	21
その他	105
計	460



### 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？ (人)

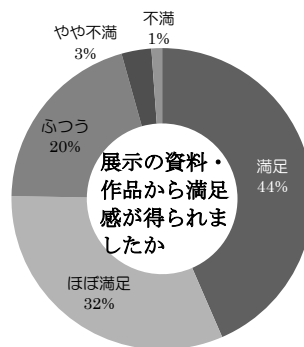
満足	205
ほぼ満足	145
ふつう	77
やや不満	7
不満	4
計	438





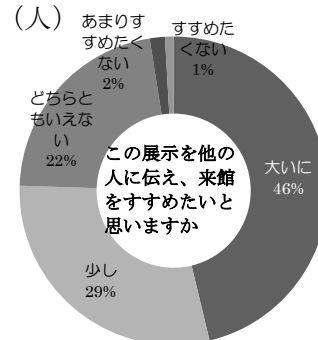
**展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？（人）**

満足	190
ほぼ満足	139
ふつう	89
やや不満	14
不満	5
計	437



**この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いますか？（人）**

大いに	204
少し	129
どちらともいえない	97
あまりすすめたくない	7
すすめたくない	4
計	441



**アンケートからの、主なご意見、ご要望**

**使い込むほどに暮らしの今むかし展**

- ・懐かしい物が並んでいて、ほっとする展示です。今でも我が家にある物もあり、当時の物の質の良さも感じます。直して使う、繕うということ、いつまでも忘れないうたいものですね。
- ・子供の頃に、見た物、自身も使った道具など改めて見ながら当時の様子を目に浮かべた懐かしさで楽しんでいました。
- ・昔の人の暮らしが体感できて懐かしく思いました。いろいろな種類の道具をもっと見たいです。ありがとうございます。
- ・懐かし興味深く見ました。物を大事にする心があった時代ですね。展示物がもっと多くても良いかなと思います。「えんぴつ」が特に面白かったです。
- ・農家にまつわる物が多いので、使用方法などピンとこなく、興味が薄れました。昭和といっても、63年間…その移り変わりが見て取れる方法（例えば年代別）、或いはその当時と今、現在とを比べられる物の展示もあるとよかったかな、と思いました。

**ダム - 木曾川・飛騨川 - 展**

- ・木曾川のダムにしほってもこれだけの展示が可能と分かりダムの奥深さを改めて知った。ダム自体の魅力だけでなく、建設に至るまでの裏側のぞき知れた気がする。ダムにちなんだ独自のキャラクターもあってわかりやすかったが、一点それに関して、解説文が手書きで読みにくい部分があった。
- ・今渡ダム建設にあたり、建設に携わる人、ダムによって生活に影響を受ける人、様々な思いと犠牲があったことをこの展示で初めて知りました。
- ・ダムについて今まで関心を持つことがなかったので、今回の企画展は有意義でした。特に今渡ダムや丸山ダムの建設現場写真一枚一枚に心打たれるものがありました。特に、建設されていくダムの姿と働く人々の姿です。
- ・丸山ダムを取り上げた企画展というのは、今まで見たことがなかったので、大変興味深く拝見させていただきました。なかなか見ることができない貴重な写真や資料・映像を見ることができて良かったです。

**中村裕太 | 日本ラインの石、岐阜チョウの道**

- ・わかりにくかったです。何なのか。石の展示、デザイン重視で見づらかった。暗くしてみえにくかった。蝶の標本は綺麗でした。
- ・蝶に関心がありそれで来ました。ギフチョウは確かに名和氏が「発見」はしたのですが、それ以前から日本に生息しており江戸時代からダンダラチョウなどとして記録されています。発見というより、近代の「科学」として記載されたのであり、もう少し解説が必要だと思います。「蝶の道」というと、アゲハ類は

- 「蝶道」というものがある事はよく知られており、この解説は必要ではないか？アゲハ類が青色に引かれる事もよく知られているが、その理由はなんでしょうか？あの動画については、アゲハは柑橘類が、モンシロチョウはキャベツ畑があり、あれでは食草にまず寄ってきた事になってしまいます。
- ・「日本陶片地図」なる存在を初めて見、知り、その一端実際に確かめることが出来た。また、石を収集されていることへの感心を持つことができた。ほんの短いひとときでも未知の世界に触れたことを嬉しく思います。
- ・新しい視点のアートだと思った。ありがとうございます。
- ・今回の展示は説明を聞かないと分からないと思います。チョウがなぜストライプに反応するのか。石を割った破片で溝が彫れるのかも、石の種類なんかもう少し知りたい。

**版画史と「私」 松坂芳助・堀江良一・安藤真司を中心に**

- ・市内の小中学生にみせたい気がします、どんなりっぱな美術館へ行くよりもいいと思います。
- ・広々とした展示場でゆっくり鑑賞できて、とても心が落ち着きました。素晴らしい作品を多くの方知って欲しいです。安藤さんの作品、特に感銘をうけました。
- ・美濃加茂市ゆかりの作家であり、美濃加茂市民として誇りに思う。すばらしい作品の数々を見ることが出来て感謝しています。
- ・3人の異なる作品をたくさん見れて面白かった。木版なのにシルクスクリーンのような色彩が不思議。美しい色が好きです

**蚕とまゆ展**

- ・今の企画展使い込むほどに何故つないでないのか、企画展等にこんなすばらしい部署のあること、ここにあるパソコンをあの部署に持ち込んで、拘、それを使う人時代をつなぐと、企画展文化の森にある拘何故そのものを、それぞれの時代に、それぞれの人々が？を？作り（創り）、使い込んできたのか物（道具）の価値や意味づけ、存在が再認識されるのではと考えます。
- ・昔の物がたくさんあって、名前や使い方がかいてあったので、わかりやすかった。

**ていねいな暮らしと道具展**

- ・説明案内の人がほしい。
- ・現在の世の中のくらしは本当に良いのかを改めて考えさせられた。
- ・写真撮影可にしてほしい。

# 施設概要・利用案内

## □ 施設概要

名 称：みのかも文化の森

所 在 地：美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 番地 1

森の面積：約 9 ヘクタール

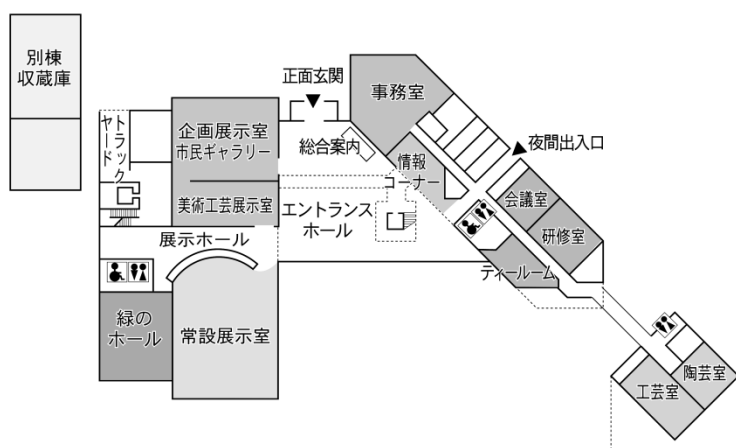
建築概要：本体施設 「ミュージアム」と「教育センター」との複合施設  
 RC造、一部鉄骨・木造、地上 3 階、地下 1 階建  
 常設展示室 (451.71 m<sup>2</sup>)、美術工芸展示室 (150.08 m<sup>2</sup>)  
 市民ギャラリー (204.00 m<sup>2</sup>)

延床面積 5,879.21 m<sup>2</sup>

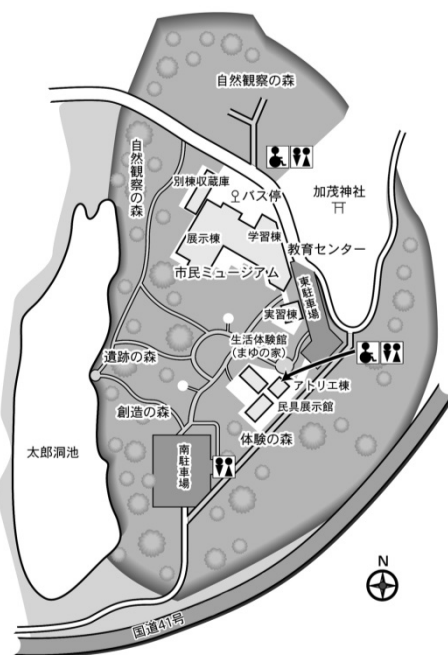
付帯施設 生活体験館 (211 m<sup>2</sup>)、民具展示館 (201 m<sup>2</sup>)、アトリエ棟 (158 m<sup>2</sup>)  
 屋外トイレ…2カ所 休憩小屋…2カ所

駐 車 場 174 台 (南駐車場 110 台、東駐車場 54 台、北駐車場 10 台)

## ■ 本館平面図



## ■ フィールドマップ



開館時間 市民ミュージアムの開館時間 午前 9 時～午後 5 時

休 館 日 月曜日 (ただし、祝日の場合は開館し直後の平日が休館日となります)  
 年末年始 (12 月 29 日から翌年 1 月 3 日)

交 通 あい愛バス JR 美濃太田駅北口から約 8 分  
 文化の森・公園線 (平日および土・日・祝=1 日 6 往復)  
 (12 月 31 日～1 月 2 日は運休します)

鉄 道 JR 名古屋駅から美濃太田駅まで特急で約 40 分  
 美濃太田駅北口から徒歩約 17 分

自 動 車 東海環状自動車道美濃加茂 I C から約 5 分  
 名神高速小牧 I C から約 35 分

□ 施設の使用時間及び使用申請の受付

- ・使用時間は、午前8時30分から午後10時までです。(一部施設を除きます)
- ・使用申請の受付は、使用される3ヶ月前にかかる月の初日から3日前までにお申し込みください。ただし、市民ギャラリー、エントランスホール、展示ホールについては、使用される6ヶ月前にかかる月の初日から15日前までに、緑のホールについては、使用される6ヶ月前にかかる月の初日から3日前までにお申し込みください。
- ・受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。ただし、休館日は受付いたしません。

□ 施設使用料

(1) 研修室等

施設 \ 使用時間	8:30 ~12:30	13:00 ~17:00	17:30 ~22:00	8:30 ~22:00	延長 1時間につき
研修室	2,400円	2,400円	2,600円	7,400円	800円
会議室	1,200円	1,200円	1,400円	3,800円	400円
工芸室	2,000円	2,000円	2,200円	6,200円	600円
陶芸室	1,200円	1,200円	1,400円	3,800円	400円
緑のホール	5,400円	5,400円	6,200円	17,000円	1,600円
情報学習室	5,600円	5,600円	6,200円	17,400円	1,600円

(2) 市民ギャラリー等

施設	使用単位	基本使用 1日(8:30~17:00)	基本使用以外 1時間につき
市民ギャラリー	全面~100㎡超	12,000円	1,600円
	100㎡以下~50㎡超	5,800円	800円
	50㎡以下	2,800円	400円
エントランスホール	全面~200㎡超	17,000円	2,200円
	200㎡以下~100㎡超	11,000円	1,600円
	100㎡以下	5,800円	800円
展示ホール	全面~80㎡超	9,000円	1,200円
	80㎡以下	4,600円	600円

(3) 宿泊アトリエ棟等

施設 \ 使用時間	8:30 ~12:30	13:00 ~17:00	17:30 ~22:00	8:30 ~22:00	延長 1時間につき
アトリエ棟2階(アトリエ)	1,000円	1,000円	1,200円	3,200円	400円
アトリエ棟2階(全室)※	2,200円	2,200円	2,600円	7,000円	600円
アトリエ棟調理室	800円	800円	1,000円	2,600円	400円
生活体験館(全面)	2,200円	2,200円	2,600円	7,000円	600円
生活体験館(部分使用)	1,200円	1,200円	1,400円	3,800円	400円

※ アトリエ棟2階を午後10時から午前8時30分まで使用する場合は、3,600円が加算されます。

※ 使用者が使用するに当たり、参加者から入場料等を1人につき、500円を超える金額を徴収する場合は、本表に定める額の100%に相当する額を加算してお支払いいただきます。また、自らの営利につながる内容で施設を使用する場合においても、本表に定める額の100%に相当する額を加算してお支払いいただきます。

※付属設備、及び、備品の使用料は、別途お支払いいただきます。

## みのかも文化の森の沿革

1983年3月	美濃加茂市郷土資料館建設基金条例の制定。	1998年10月	「ミュージアム自由自在」講座開催。(3回、～11月)
1986年8月	美濃加茂市史料調査協力員(10名)を設置。	1999年1月	ホームページ上に、「今週の文化の森」として、工事の進捗状況、準備状況を報告、公開。
1988年8月	(仮称)美濃加茂市郷土資料館建設調査委員会(17名)を設置。	1999年1月	市職員による「文化の森運営検討ワーキング」開催。(2回)
1989年3月	第3次総合計画において「文化の森」「郷土資料館」の建設が位置づけられる。	1999年1月	美濃加茂市自然史研究会が発足。自然調査活動をすすめる。
1989年3月	美濃加茂市美術品等収集基金条例の制定。	1999年3月	(仮)文化の森付帯施設工事実施設計。
1989年8月	(仮)美濃加茂市郷土資料館基本構想の提言(調査委員会を合計8回開催理念、目的、性格のほか立地場所、名称などについて提言を受ける。以後専門委員会において具体的検討を進める。)	1999年3月	リーフレット「文化の森もうすぐうまれます」発行。
1989年8月	(仮)文化の森予定地域の植生調査。(1次)	1999年3月	『みのかも文化の森活用の手引き』第1集発行。
1990年3月	(仮)文化の森整備基本構想を策定。(セントラルコンサルタント(株))	1999年8月	(仮)文化の森付帯施設工事着工。
1990年4月	社会教育課に博物館建設係を設置。	2000年3月	設置管理条例(名称を「みのかも文化の森」「美濃加茂市民ミュージアム」「美濃加茂市教育センター」とする。)制定。
1990年5月	(仮)文化の森構想の地元説明会開催。	2000年3月	工事完了。(本体建築、電気、管空調、展示、付帯施設)
1991年3月	郷土博物館展示基本計画を策定(専門委員会を合計15回開催。ほか随時専門委員の指導を得る。(株)日展)	2000年3月	『みのかも文化の森活用の手引き』第2集発行
1991年7月	空中写真測量実施。	2000年5月	文化の森ボランティアを募集。
1992年3月	(仮)文化の森基本計画策定。	2000年9月	コンピュータ機器の設置。
1992年4月	中央公民館内に美濃加茂市教育センターを開設。	2000年10月	竣工式およびオープニングイベント。
1992年9月	地権者との間で「土地賃貸借契約」「物件移転補償契約」を締結。		美濃加茂市民ミュージアム開館記念展Ⅰ「芸術と自然ー若林奮・大久保英治・山口啓介 美濃加茂自然環境会議2000」を開催。
1992年10月	(仮)文化の森予定地の埋蔵文化財試掘調査。(～11月(北部を除き、ほぼ全域で遺物包含層を確認))		野外劇「真夏の夜の夢」(シェイクスピア作、坪内逍遙訳)を上演。
1992年10月	(仮)文化の森予定地の樹木調査。(樹種と分布状況を調査)	2000年11月	市民参加の演劇を以降毎年開催。
1993年3月	(仮)文化の森(全体)基本設計。		第1回「まゆの家まつり」を、文化の森のボランティアが実行委員会を結成して開催。以降毎年開催。
1993年12月	(仮)文化の森予定地域の植生調査。(2次)		美濃加茂市民ミュージアム開館記念展Ⅳ「親子の対話 岡本一平・岡本太郎展」を開催。
1994年3月	(仮)文化の森(全体)実施設計。	2001年2月	第1回「春・朗読の一日」が市民による実行委員会により開催される。以降毎年開催。
1994年4月	埋蔵文化財(尾崎遺跡)発掘調査開始。	2001年5月	第1回森のコンサート「ホルン五重奏」を開催。以降毎年数回、森のコンサートを開催。
1994年11月	博物館・教育センターの複合施設計画の立案。	2001年9月	「文字の登場、そして広まりー古代中世の人と文字をめぐるー展」を開催。
1995年4月	「文化課」が新設され、文化の森準備が充実する。	2001年12月	第1回アートボランティアビデオ上映会「議事堂を梱包する」が開催される。以降ゴールデンアート劇場として毎年開催。
1995年6月	(仮)文化の森自然環境影響評価調査(平成6年7月～)(植生、動物、景観、文化財、水質他)	2001年12月	生活体験館東に体験工房(染色)が完成する。
1995年8月	第8回彫刻シンポジウムを文化の森内で開催。現地制作を行い、1基を仮設置する。以後、3基設置する。	2002年1月	「暮ラシカル道具展」02を開催。以降毎年開催。
1996年3月	博物館・教育センター複合施設((仮)「文化の森プラザ」)設計の予算化。	2002年2月	「川崎小虎展～暖かみあふれる自然の詩情～」を開催。
1996年4月	博物館部門別展示検討委員会開催、以後7回開催。(自然史、考古、歴史民俗、美術工芸)	2002年3月	『美濃加茂市民ミュージアム紀要』第1集を発行。以降、毎年発行。
1996年6月	文化の森構想教育センター部会開催。(以後8回開催)	2002年4月	従来まで文化の森所管であった美濃加茂市教育センターが学校教育課所管となる。
1996年7月	(仮)文化の森整備検討委員会(13名)開催。(以後3回開催)。(市として「施設の位置づけ」「森の学校」などを提示し、それを受け具体的検討をすすめる。)	2002年6月	「気持ちの宝物 椎名誠写真展」を開催。
1996年11月	(仮)文化の森市民懇話会の開催。(以後、市長と語る会を含め4回開催)	2002年6月	「蚕とまゆ展」02が開催される。以降毎年開催。
1996年12月	(仮)文化の森プラザ地質調査。	2002年7月	「発掘された尾崎遺跡ーこの地に人が残したもののー展」を開催。
1997年3月	(仮)文化の森プラザ建築基本設計。	2002年9月	「ミノ」「カモ」の古代ー御野国戸籍から1300年ー展」を開催。
1997年3月	(仮)文化の森プラザ展示基本設計。(株式会社日展名古屋支店)	2002年9月	「太田三郎展」を開催。
1997年7月	(仮)文化の森ニュース第1号発行。(10号まで、平成11年11月)	2002年10月	常設展示室の入場者が10万人を超える。
1997年10月	「市民のための博物館」講座開催。(4回、～11月)	2002年11月	伝承料理の会により『おばあちゃんちのおかって』(第1集)を発刊。
1998年3月	(仮)文化の森プラザ実施設計。	2003年12月	好評につき『おばあちゃんちのおかって』第2集を発刊。
1998年5月	(仮)文化の森ボランティアが発足、会員11名で、主に歴史民俗の資料調査に活動をはじめ。	2003年2月	「色と形と冒険ー坂井範一とゆかりの作家展」を開催。
1998年6月	(仮)文化の森プラザ新築工事契約。	2003年4月	「土に残る記憶Ⅰー旧石器と縄文ー展」を開催。
1998年7月	(仮)文化の森プラザ起工式。(7月15日)	2003年7月	「美濃加茂にサイヤゾウがいた頃展」を開催。
1998年9月	(仮)文化の森プラザ展示工事契約。	2004年2月	「津田左右吉ーその人と時代ー展」を開催。

2004年 6月	博物館法に基づく「登録博物館」に認定される。	2011年 7月	「おどろき はっけん みのかもの自然展」を開催。
2004年 7月	「まちの観察日記展」を開催	2011年 9月	「景観の彫刻 -庭- 笹谷晃生展」を開催。
2004年 10月	「博学連携フォーラム」(市制 50 周年記念事業)を開催。以降、「博学連携フォーラム」として毎年開催。	2011年 12月	「美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業 共催 『没後 50 年 津田左右吉』展」を開催。
2004年 11月	「写真で見る美濃加茂市 50 年」(市制 50 周年記念事業)が刊行される。	2011年 12月	「中山尚子展 2002-2011」を開催。あわせて中山尚子デザインのクリスマス菓子をショップで販売。以後継続。
2005年 2月	「情熱の人・坪内逍遙展」(市制 50 周年記念事業)開催。	2012年 2月	「自然線人工線 眞板雅文展」を開催。
2005年 7月	「のこってほしいもの・のこしたいもの 今森光彦 里山物語展」を開催。	2012年 4月	「高橋余一『生活絵巻』展 -暮らしのありかを思い出す-」を開催。
2005年 9月	「素材への思い-力と可能性-展」を開催。	2012年 7月	「あそぶ展 -夢中になってあそぶ子どもの姿-」を開催。
2005年 10月	サークル等による「フリーマーケット」の開催。以降、毎年開催。	2012年 9月	「みつえ 押江千衣子展」を開催。
2005年 12月	「栗田宏一 足もとの土展」を開催。	2012年 12月	「みのかも定住自立圏 加茂の古代風景展 -美濃加茂・坂祝・富加-展」を開催。
2006年 2月	「廻国・円空-加茂をとおりて-展」を開催。	2012年 12月	「大嶽有一展」を開催。
2006年 7月	「生きる・くらす 鳥と人展」を開催。	2013年 2月	美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業「岡本一平展-世態人情を描く-」を開催。
2006年 7月	子どもわくわくプログラム(「文化の森たんけんたい」「ふらっとみゅーじあむ」「フォレストくらぶ」など)を開催。以降、毎年開催。	2013年 4月	「堀江良一展 版画・油彩」を開催。
2006年 9月	「篠原猛史 Biotope Shelter ビオトープの場展」を開催。	2013年 6月	「渡辺泰幸展」を開催。太田宿界隈で行われる「きそがわ日和」のイベント「森の音・川の音」と連携。
2006年 10月	展示ガイドボランティア企画展示 ちいさな展覧会「円空」を開催。以降、毎年展示ボランティア企画の展示を開催。	2013年 7月	「鉱物と化石 などと美しさ展」を開催。連携企画として「bee cafe」が3種のジオ菓子を販売。以後展覧会にあわせたメニューを考案。
2006年 12月	「いつもそばにカメラがあった展」を開催。	2013年 8月	『おばあちゃんちのおかって 番外編 漬物特集』を発刊。
2007年 2月	「花をみる 鳥を描く 大矢峻嶺展」を開催。	2013年 9月	「眠りにつくまで 平川祐樹展」を開催。
2007年 7月	「美・粒子展 酒向絵美+渡邊太郎」を開催。	2013年 10月	第10回目の博学連携フォーラムを開催。テーマ「博物館と子ども、ふたつをつなぐ「人」。
2007年 9月	「Critical Point 50≒0 小島久弥展」を開催。	2013年 12月	「けふ 野辺をあるきて 佐野一彦の「伊深日記」展」を開催。
2007年 12月	「逍遙とシェイクスピア～世界はすべて劇場である～展」を開催。	2014年 1月	地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞。美濃加茂市新成人を対象に「二十歳へのアンケート」として、文化の森の思い出や現況について調査を実施。以後継続。
2008年 2月	「岐阜縣二人展 松本竣介・麻生三郎」を開催。	2014年 2月	「みのかも定住自立圏 加茂の遺跡探訪展」を開催。美濃加茂市と加茂郡が締結している定住自立圏事業の一環として位置づける。関連事業としてミュージアムフォーラム「文化遺産と市民その関わり合いを考える」を開催。
2008年 4月	「土に残る記憶VI-中世びとの世界-展」を開催。	2014年 4月	「里山のオカイコサマ 美濃加茂の養蚕展」を開催。
2008年 6月	「穂苅三寿雄・貞雄写真展」を開催。	2014年 6月	「特集 安藤真司展」を開催。
2008年 7月	「暮らしを彩る明治の「刷り物」展 ～半原版画館コレクションから～」を開催。	2014年 7月	「逍遙 思いを伝えた手紙と人 展」および「ひかるもののフシギ展」を開催。
2008年 8月	「子どもわくわく文化の森展」を開催。	2014年 7月	「ふらっとみゅーじあむ」支援のための中学生ボランティアを募集。以後継続。
2008年 9月	「図鑑庭園 The Garden of the Name 渡辺英司展」を開催。	2014年 9月	「世界のつくりかた 大巻伸嗣展」を開催。
2008年 12月	「蜂屋柿 その歴史と人々展」を開催。	2014年 9月	美濃加茂市児童生徒科学作品展・社会科作品展に出展された作品を対象とした「文化の森賞」を創設。以後継続。
2009年 2月	「逍遙と『早稲田文学』展」(美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業)を開催。	2014年 11月	みのかも文化の森学習支援ボランティアが「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞。
2009年 2月	「星野道夫展「星のような物語」-学校向け写真展-」を開催。	2014年 12月	「みのかも定住自立圏 加茂の遺跡展」および「美濃加茂市制 60 周年記念展「1954年の物語」」を開催。
2009年 4月	「坪内逍遙生誕 150 年記念『山椿花いとなつかしむ』展」を開催。	2015年 2月	「「地方」文化のつくりびと 詩人・長尾和男と若葉文藝展」を開催。
2009年 7月	「なつやすみ歴史探検-考古学にふれる-展」を開催。	2015年 4月	「ラインの風景」展 めぐる人々とその歴史」を開催。
2009年 9月	「Calling 木藤純子展」を開催。	2015年 7月	「里山 暮らしとともにある自然展」を開催。
2009年 12月	「ていねいな暮らしのあったころ-佐野一彦の撮った伊深の里山-展」を開催。	2015年 9月	「皮膚感覚 阿部大介展」を開催。
2010年 1月	「すきなものをすきなように 坂井範一展」を開催。	2015年 10月	みのかも文化の森 15 周年を迎え、新たなロゴマークを作成、新しいミュージアムグッズを制作し販売開始。
2010年 4月	組織改革によって教育委員会教育部文化振興課が市長部局市民協働部の所管となる。博物館業務、文化財保護業務等は教育委員会の補助執行業務としておこなう。		
2010年 4月	「水辺の時間 内山りゅう写真展」を開催。		
2010年 7月	「川のほとりで-木曾川流域の考古と歴史から-展」を開催。		
2010年 9月	「みえないように 川井昭夫展」を開催。		
2010年 12月	「美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業 共催展「美濃の白隠」展」を開催。		
2011年 2月	「My Space and My Dimension・1960-2010 船坂芳助 版画展」を開催。		
2011年 4月	「ある日の情景、緑と子どもたち 名古屋画廊コレクションから展」を開催。		

- 2015年10月 15周年を記念し、ミュージアムフォーラム「地域博物館がこれからめざすところ」、エントランスにおいての展示「ミュージアムニュースにみる文化の森15年」、まゆの家の特別行事を開催。みのかも広報10月1日号に文化の森特集記事掲載。
- 2015年12月 「旧石器 遺跡と発見展」を開催。
- 2016年2月 「のりづきとしお展」を開催。
- 2016年4月 「おどろきとこだわりのミュージアムグッズ展」を開催。各地のミュージアムや個人から多くの出品。また、ショップにて全国各地のグッズを販売し好評。
- 2016年7月 「起点 飛騨街道展」「わくわくを伝えたい 博物館の裏側と『展示』ができるまで展」「ダボ市・美濃加茂市姉妹都市 文化交流企画展 The River展」を開催。
- 2016年9月 「第41回岐阜県移動美術館 ひとをかくひと」開催。
- 2016年12月 「モノを蒐(あつ)めるまなざし 早稲田大学會津八一記念博物館蔵のコレクションとともに展」を開催。
- 2017年2月 「静かなる森の要請 篠原芳子展」を開催。
- 2017年3月 公式ホームページ、芝生の更新。Wi-Fi運用開始。
- 2017年4月 みのかも定住自立圏第2次共生ビジョン関連事業「織田信長の東美濃攻略 加茂に生きた武将たち展」「文化の森コレクション展」を開催。
- 2017年7月 夏の展覧会「このあたりの自然」を開催。
- 2017年9月 「河村るみ When I am laid in earth ー私が大地に横たわるときー」を開催。
- 2017年12月 「まちのいいもの よいところー山之上ー展」を開催。
- 2018年2月 美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業10周年記念共催展「絵を通して見る坪内逍遙」開催。
- 2018年4月 「使い込むほどに 暮らしの今むかし展」を開催。
- 2018年7月 「ダム - 木曾川・飛騨川 - 展」を開催。
- 2018年9月 「中村裕太 | 日本ラインの石、岐阜チョウの道」を開催。
- 2018年12月 「版画史と「私」 船坂芳助・堀江良一・安藤真司を中心に」を開催。

みのかも文化の森 年報 Vol.19 2018 年度

---

2019（令和元）年 9 月 1 日

編集・発行 美濃加茂市市民協働部 文化振興課（みのかも文化の森）

〒505-0004

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1

電話 0574-28-1110

FAX 0574-28-1104

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

印刷 有限会社 永田印刷